

○令和8年度 学 年 暦

月	日	月 火 水 木 金 土	行 事	履修・単位認定期限等
4		1 2 3 ④ ⑤ 6 7 8 9 10 ⑪ ⑫ 13 14 15 16 17 ⑬ ⑭ 19 20 21 22 23 24 ⑮ ⑯ 26 27 28 ⑰ 30	1日 前期開始 2日 春季休業終了 3日 入学式 6～9日 学年始めの一般指導 7～9日 健康診断 10日 前期授業開始	6～17日 前期履修登録期間 29日 祝日(昭和の日) 授業日
5		1 ② ③ ④ ⑤ ⑥ 7 8 ⑨ ⑩ 11 12 13 14 15 ⑬ ⑭ 17 18 19 20 21 22 ⑮ ⑯ 24 25 26 27 28 29 ⑰ ⑱	22日 スポーツ大会	
6		1 2 3 4 5 ⑥ ⑦ 8 9 10 11 12 ⑬ ⑭ 14 15 16 17 18 19 ⑮ ⑯ 21 22 23 24 25 26 ⑰ ⑱ 28 29 30		27日 補講日
7		1 2 3 ④ ⑤ 6 7 8 9 10 ⑪ ⑫ 12 13 14 15 16 ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ 20 21 22 23 24 ⑰ ⑱ ⑲ 26 27 28 29 30 31	1日 創立記念日 20日 キャンパスツアー	17日 月曜日授業 18日 補講日 20日 金曜日授業
8		① ② 3 4 5 6 7 ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ 12 13 14 ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ 17 18 19 20 21 ⑰ ⑱ ⑲ 23 24 25 26 27 28 ⑰ ⑱ ⑳ 30 31	30～7日 前期認定試験期間 (8/6, 7は特別時間割で対応する試験) 8日 オープンキャンパス 8日 夏季休業開始 ※集中講義あり	7日 前期「追試験願」提出期限
9		1 2 3 4 ⑤ ⑥ 7 8 9 10 11 ⑫ ⑬ 13 14 15 16 17 18 ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ 24 25 ㉖ ㉗ 28 29 30	※集中講義あり 23日 夏季休業終了、前期終了 24日 後期開始、後期授業開始	24～30日 後期履修登録訂正期間

月	日 月 火 水 木 金 土	行 事	履修・単位認定期限等
10	1 2 ③ ④ 5 6 7 8 9 ⑩ ⑪ ⑫ 13 14 15 16 ⑰ ⑱ 19 20 21 22 23 ⑳ ㉑ 26 27 28 29 30 ㉓		12日 祝日(スポーツの日) 授業日
11	① 2 ③ 4 ⑤ 6 ⑦ ⑧ 9 10 11 12 13 ⑭ ⑮ 16 17 18 19 ⑯ ㉑ ㉒ ㉓ 24 25 26 27 ㉕ ㉖ 30	1日 大学祭 20日 学校推薦型選抜準備(休講)	5日 月曜日授業 14日 補講日
12	1 2 3 4 ⑤ ⑥ 7 8 9 10 11 ⑫ ⑬ 14 15 16 17 18 ⑭ ⑮ 21 22 23 24 25 ⑯ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕	26日 冬季休業開始	5日 補講日 19日 補講日
1	① ② ③ 4 5 6 7 8 ⑨ ⑩ ⑪ 12 ⑬ 14 ⑭ ⑮ ⑯ 18 19 20 21 22 ㉑ ㉒ 25 26 27 28 29 ㉓ ㉔	3日 冬季休業終了 4日 授業開始 15日 大学入学共通テスト準備(休講) 21～29日 後期認定試験期間 (1/28、29は特別時間割で対応する試験)	13日 金曜日授業 29日 後期「追試験願」提出期限
2	1 2 3 4 5 ⑥ ⑦ 8 9 10 ⑪ 12 ⑬ ⑭ 15 16 17 18 19 ⑯ ㉑ 22 ㉓ 24 25 26 ㉕ ㉖		
3	1 2 3 4 5 ⑥ ⑦ 8 9 10 11 12 ⑬ ⑭ 15 16 17 18 19 ⑯ ㉑ ㉒ 23 24 25 26 ㉕ ㉖ 29 30 31	4日 卒業者名発表 25日 春季休業開始 学位記授与式(卒業式) 31日 後期終了	

(注) 事情により一部変更されることがある。変更等についてはその都度掲示する。

○学部 授業・履修登録・単位認定等

I 授業時間・単位数

- 1 授業時間
- | | |
|-------|-------------|
| 1 時限目 | 9:00～10:30 |
| 2 時限目 | 10:40～12:10 |
| 3 時限目 | 13:10～14:40 |
| 4 時限目 | 14:50～16:20 |
| 5 時限目 | 16:30～18:00 |

(科目によっては、45 分授業の場合もあります。)

2 単位数

単位数は、次の基準に則って定められています。

講義科目…1時間×15回=1単位

演習科目…1～2時間×15回=1単位

実 習…2～3時間×15回=1単位

※上記の「1 時間」は、本学の授業45 分に相当します。

通常の授業は、90 分「2 時間」です。

台風等の場合における授業等の取り扱いについて

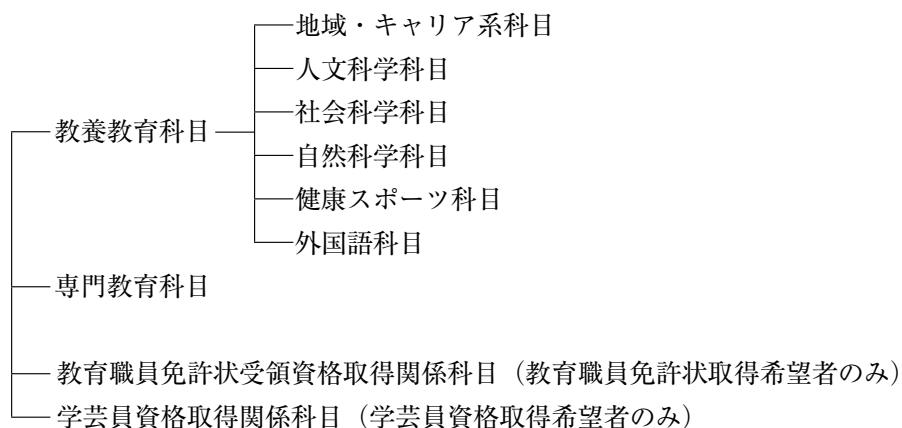
広島県南部地方（福山・尾三地区）に台風が接近する等の事態により、大学での授業（期末試験等を含む。以下同じ）の実施が困難であると思われるときは、当日の授業を休講とすることを、当日の午前 6 時の時点、又は、当日の午前10時の時点で、ポータルサイト「[ono-po](https://portalonomichi-u.ac.jp/)」(<https://portalonomichi-u.ac.jp/>) のお知らせ等により、伝達します。なお、補講は原則として直近の土曜日に行います。また中止になった期末試験については、延期します。延期された期末試験の実施については、後日、掲示板に発表します。

II 授業科目・卒業の要件

1 授業科目

授業科目は、次のように区分されています。

(1) 分野別



(2) 必修・選択必修・選択科目

- 必修科目…必ず履修しなければならない科目
- 選択必修科目…特に指定された科目の中から選択して、所定単位数以上を必ず履修しなければならない科目
- 選択科目…適宜選択して履修する科目

2 卒業の要件

本学を卒業するためには、4年以上在学し、次の表に定める単位を修得しなければなりません。

区 分		経済情報学部	芸術文化学部		備 考
		経済情報学科	日本文学科	美術学科	
教養教育科目	地域・キャリア系科目	必修1科目2単位を含め2単位以上		24単位以上	合計 24単位以上
	人文科学科目	4単位以上	4単位以上		
	社会科学科目	4単位以上	4単位以上		
	自然科学科目	4単位以上	4単位以上		
	健康スポーツ科目	必修1科目1単位を含め2単位以上	必修1科目1単位を含め2単位以上	必修1科目1単位を含め2単位以上	
	外国語科目	必修2科目4単位、選択必修2科目4単位を含め12単位以上	必修2科目4単位、選択必修2科目4単位を含め12単位以上	必修2科目4単位を含め6単位以上	
	小 計	38単位以上	38単位以上	32単位以上	
専門教育科目		90単位以上	86単位以上	92単位以上	
卒業必要単位数		128単位以上	124単位以上	124単位以上	

《履修基準》

次の基準により履修してください。

必修科目は、卒業要件を満たすために必要ですので、必ず履修してください。

【教養教育科目】

(1) 地域・キャリア系科目、人文科学科目、社会科学科目、自然科学科目

・経済情報学部経済情報学科

地域・キャリア系科目「キャリア形成入門」2単位が必修

人文・社会・自然科学科目各4単位以上、地域・キャリア系科目を含め合計24単位以上を選択して修得してください。

・芸術文化学部日本文学科

人文・社会・自然科学科目各4単位以上、合計24単位以上を選択して修得してください。

(地域・キャリア系科目の修得単位はその24単位に含めることができます。)

・芸術文化学部美術学科

各科目を自由に選択し、合計24単位以上を修得してください。

(2) 健康スポーツ科目

「健康スポーツ実習Ⅰ」(1年次配当)は、1単位(通年)必修です。

「健康スポーツ実習Ⅰ」を含め2単位以上を選択して修得してください。

(3) 外国語科目

- ・「日本語Ⅰ」・「日本語Ⅱ」は外国人留学生のみ履修できます。
- ・外国人留学生は、外国語科目の履修については、チューターと相談して決めてください。
- ・「総合英語Ⅰ・Ⅱ」は習熟度別のクラス分けをします。
- ・経済情報学部経済情報学科および芸術文化学部日本文学科
「総合英語Ⅰ・Ⅱ」の4単位は必修、「応用英語Ⅰ」・「応用英語Ⅱ」・「TOEICⅠ」・「TOEICⅡ」のうち4単位は選択必修です。「応用英語Ⅰ」・「応用英語Ⅱ」は学籍番号によるクラス分けをします。なお、「応用英語Ⅰ」・「応用英語Ⅱ」については、3年生以上はどのクラスでも受講できます。このほか、4単位以上を選択して修得してください。
- ・芸術文化学部美術学科
「総合英語Ⅰ・Ⅱ」の4単位は必修です。このほか、2単位以上を選択して修得してください。

【専門教育科目】

- (1) 経済情報学部経済情報学科の学生は、次の基準により履修してください。

共通必修科目 12科目23単位

3年次からは所属する専門演習Ⅰa、Ⅰbの担当教員により、所属するコースが分かります。それぞれのコースに応じて、以下のコース必修科目、およびコース選択必修科目を含む専門教育科目67単位以上を履修してください。

- 1 コース必修科目－そのコースの学生は、必ず履修しなくてはなりません。
 - ・経済コース 2科目4単位
 - ・経営コース 2科目4単位
 - ・情報コース 3科目5単位
- 2 コース選択必修科目－そのコースの学生は、各コースで指定した科目群の中から指定した科目数と指定した単位数以上を履修しなくてはなりません。
 - ・経済コース 7科目14単位以上
 - ・経営コース 7科目14単位以上
 - ・情報コース 7科目13単位以上
- 3 コース選択科目
 - ・経済コース 経済コース選択必修科目の修得単位を含め、63単位以上
 - ・経営コース 経営コース選択必修科目の修得単位を含め、63単位以上
 - ・情報コース 情報コース選択必修科目の修得単位を含め、62単位以上

専門演習Ⅰa、専門演習Ⅰb－履修のために必要な条件

- ①在学年数（休学期間を除く）が2年以上であること。
- ②2年次終了時点での修得単位数が60単位以上であること。
- ③専門演習Ⅰaの単位を修得した後に、専門演習Ⅰbを履修すること。

専門演習Ⅱa（卒業研究）、専門演習Ⅱb（卒業研究）について

- ①専門演習Ⅰa、専門演習Ⅰbの単位が修得できなければ専門演習Ⅱa（卒業研究）、専門演習Ⅱb（卒業研究）は履修できません。
- ②専門演習Ⅱa（卒業研究）の単位が修得できなければ、専門演習Ⅱb（卒業研究）は履修できません。
- ③専門演習Ⅱb（卒業研究）は、卒業論文を作成して提出するものとします。指導教員によって卒業論文が合格と認められることによって、専門演習Ⅱb（卒業研究）の単位が認定されます。
 - (a) 卒業論文は、原則として下限1万字以上、2万字以下の長さのものとし、A4版の用紙を使用し、パソコンまたはワープロ入力・印刷したものとします。
 - (b) 提出にあたっては、表紙を付けることとし、表紙には、論文題目、所属専門演習Ⅱ（ゼミナール名）、学籍番号、氏名を右のように明記すること。

尾道市立大学経済情報学部
〇〇〇〇年度卒業論文
「卒論タイトル」
学籍番号 ★★★★★
氏 名 尾道 花子
(〇〇ゼミ)

(表紙サンプル：A4版)

- (c) 提出期間は、専門演習Ⅱ履修年度の1月の授業開始日（冬季休業終了後）から、1月の第3木曜日の15時（時間厳守）までです。
- (d) 提出場所は、尾道市立大学事務室（E棟1階）です。

特別演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ

履修には、一定の条件を満たしている必要があります。詳しい履修条件については学年始めの一般指導（オリエンテーション）で説明します。

- (2) 芸術文化学部日本文学科の学生は、次の基準により履修してください。

学部共通科目—2科目4単位以上

日本文学系—日本文学概論は2単位必修

日本文学史Ⅰ～Ⅴのうちから2科目4単位以上

日本文学講読Ⅰ～Ⅵ、日本文学講義Ⅰ～Ⅳ、日本文学特殊講義のうちから5科目10単位以上

日本語学系—必修2科目4単位を含め、10単位以上

中国欧米文学—必修2科目4単位を含め、8単位以上

関連科目—10単位以上

演習・卒業論文—古典文学基礎演習、近現代文学基礎演習、日本語学基礎演習の3科目6単位必修
 中古文学専門演習、中世文学専門演習、近世文学専門演習、近現代文学専門演習、現代語学専門演習、古典語学専門演習、言語学専門演習、中国文学専門演習、欧米文学専門演習、文芸創作専門演習、国語教育学専門演習、伝承文学専門演習のうち2科目4単位以上卒業論文（構想・準備）、卒業論文（制作）の2科目4単位必修

- (3) 芸術文化学部美術学科の学生は、次の基準により履修してください。

学部共通科目—2科目4単位以上

専門基幹科目—必修1科目4単位を含め、20単位以上

基礎造形科目—必修4科目14単位

専門実習科目—必修2科目14単位を含め、50単位以上

全ての基礎造形科目の単位が修得できなければ、専門実習科目は履修できません。

日本画コース、油画コース、デザインコースは、それぞれ「日本画実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」、「油画実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」、「デザイン実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」を履修してください。

また、それらの「実習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」は、Ⅰの単位を修得できなければⅡは履修できません。同じくⅡの単位を修得できなければⅢは履修できません。

関連科目—2科目4単位以上

【開放科目】

開放科目とは、他学科の専門教育科目を教養教育科目として履修できる科目のことです。

具体的には、下の表に掲げた科目です。

履修を希望する人は、この表の区分に従って履修しなければなりません。

また、開放科目の履修には、次の条件がつけられています。

- ① 6単位を超えない範囲での履修であること
- ② その科目の配当学年以上での履修であること
- ③ 教室の収容力を超える履修者がある場合には、その科目を専門教育科目として履修する学生の履修が優先されること

区 分	経済情報学科	日本文学科	美術学科
人文科学科目	日本文化史 瀬戸内文化論	メディアグラフィックス概論 編集とデザイン	民俗学Ⅰ 民俗学Ⅱ
社会科学科目		簿記入門 ファイナンシャル・プランニング	簿記入門 ファイナンシャル・プランニング
自然科学科目	人間工学概論	人間工学概論 情報と倫理 統計学Ⅰ	情報と倫理 統計学Ⅰ

Ⅲ 教育課程表

1 教養教育科目

開講年次から履修することが可能。

区分	授業科目の名称	科目 ナンバリング	授業 の方法	単位数			開講 年次	開講 学期	担当教員	備考	
				必修	選択 必修	選択					
地域・キャリア系 科目	尾道学入門	G-LC-101L	講義			2	1	前	岡 本 隼 輔	() 内は経済 情報学科の単位 数	
	地域の伝統文化（開基）	G-LC-102S	演習			2	1	後	山 本 賢太郎		
	キャリア形成入門	G-LC-111L	講義	(2)		2	1	後	八 木 力 俊		
	キャリア形成演習	G-LC-211S	演習			2	2	後	八 木 力 俊		
	ビジネスキャリア入門	G-LC-213L	講義			2	2	前	八 木 力 俊		
人文科学科目	人生の哲学	G-HU-101L	講義			2	1	前	島 田 喜 行	経済情報学科・日 本文学科 4 単位 以上 美術学科を除く	
	生命倫理	G-HU-102L	講義			2	1	後	島 田 喜 行		
	論理学	G-HU-201L	講義			2	2	前	赤 井 清 晃		
	東洋思想	G-HU-104L	講義			2	1	後	山 崎 一 穂		
	心理学入門	G-HU-103L	講義			2	1	前	中 村 孝		
	日本の文学	G-HU-112L	講義			2	1	前	原 卓 史		
	文章表現法（学術的文章）	G-HU-111L	講義			2	1	前	原 卓 史		
	文章表現法（実用的文章）	G-HU-113L	講義			2	1	後	宮 谷 聡 美		
	美術表現入門	G-HU-111L	講義			2	1	後	小 野 環		
	美術の歴史と鑑賞	G-HU-121L	講義			2	1	集中	福 田 道 宏		
	演劇の歴史と鑑賞	G-HU-122L	講義			2	2	前	住 田 光 子		
	文化財学	G-HU-221L	講義			2	1	後	坂本・宇根元・西井・柿本・藤井		
	思考とデザイン	G-HU-131L	講義			2	1	後	黒 田 教 裕		
	Topics in Language,Culture,and Society	G-HU-202L	講義			2	2	前	高垣・平山・小林		
	日本文化史（経済情報）	G-HU-231L	講義			2	2	後	米 倉 広 晃		
	瀬戸内文化論（経済情報）	G-HU-431L	講義			2	4	前	藤 井 佐 美		
	民俗学Ⅰ（美術）	G-HU-331L	講義			2	3	前	藤 井 佐 美		
	民俗学Ⅱ（美術）	G-HU-332L	講義			2	3	後	藤 井 佐 美		
	メディアグラフィックス概論（日本文学）	G-HU-203L	講義			2	2	後	山 本 めぐみ		
	編集とデザイン（日本文学）	G-HU-224L	講義			2	2	前	小畑拓也・伊藤麻子		
社会科学科目	現代社会と人間行動	G-SS-145L	講義			2	1	後	中 村 孝	経済情報学科・日 本文学科 4 単位 以上 美術学科を除く	合計 2 4 単位以上
	法学概論	G-SS-101L	講義			2	1	前	吉 良 悟		
	日本国憲法	G-SS-102L	講義			2	1	後	吉 良 悟		
	世界歴史の流れ	G-SS-111L	講義			2	1	前	北 川 涼 太		
	日本歴史の流れ	G-SS-112L	講義			2	1	前	内 海 寧 子		
	政治学入門	G-SS-121L	講義			2	1	集中	堀 雅 晴		
	社会思想史	G-SS-122L	講義			2	1	前	林 直 樹		
	現代の経済学	G-SS-123L	講義			2	1	後	井 本 伸		
	社会保障入門	G-SS-142L	講義			2	1	前	牧 田 幸 文		
	社会学入門	G-SS-141L	講義			2	1	後	金 信 行		
	メディア論	G-SS-143L	講義			2	1	前	阿 部 純		
	文化社会学	G-SS-144L	講義			2	1	後	阿 部 純		
	民法入門	G-SS-103L	講義			2	1	前	王 佳 子		
	簿記入門（芸術文化）	G-SS-131L	講義			2	1	前	田中政旭・津村怜花		
ファイナンシャル・プランニング（芸術文化）	G-SS-132L	講義			2	1	後	小 泉 伸			
自然科学科目	教養数学	G-NS-101L	講義			2	1	後	南 郷 毅	経済情報学科・日 本文学科 4 単位 以上 美術学科を除く	
	物理科学入門	G-NS-111L	講義			2	1	前	白 石 希 典		
	地球と宇宙	G-NS-112L	講義			2	1	後	白 石 希 典		
	物質の世界	G-NS-212L	講義			2	2	後	林 幾 江		
	生物科学入門	G-NS-211L	講義			2	2	前	中 村 隼 明		
	科学技術の進歩	G-NS-131L	講義			2	1	後	白 石 希 典		
	情報科学入門	G-NS-121L	講義			2	1	前	本 田 治		
	建築環境論	G-NS-132L	講義			2	1	前・後	渡 邊 義 孝		
	数学の基礎と歴史	G-NS-103L	講義			2	1	後	宮 川 貴 史		
	情報と倫理（芸術文化）	G-NS-122L	講義			2	1	前	金 信 行		
	統計学Ⅰ（芸術文化）	G-NS-102L	講義			2	1	後	宮川貴史・白石希典		
	人間工学概論（経済情報・日本文学）	G-NS-231L	講義			2	2	集中	神 邊 篤 史		
	数理・データサイエンス・AI 入門	G-NS-120L	講義			2	1	後	河 村 勉		
	健康スポーツ 科目	健康スポーツ学	G-HS-102L	講義			2	1	後		
健康スポーツ実習Ⅰ		G-HS-101P	実習	1			1	通年	藤岩・入澤・今井		
健康スポーツ実習Ⅱ		G-HS-201P	実習			1	2	通年	藤岩秀樹・入澤雅典		
野外スポーツ実習		G-HS-202P	実習			1	2	集中(後)	藤 岩 秀 樹		
外国語科目	総合英語Ⅰ	G-FL-101L	講義	2			1	前	小林・三上	経済情報学科 日本文学科 必修 2 科目 4 単位、選択必修 2 科目 4 単位を含め、12 単位以上 美術学科 必修 2 科目 4 単位を含め 6 単位以上 () 内は、美術学科の単位数 ※日本語Ⅰ、日本語Ⅱは留学生のみ履修可能	
	総合英語Ⅱ	G-FL-102L	講義	2			1	後	コレップファー		
	TOEICⅠ	G-FL-201L	講義		2	(2)	2	前	平山直樹・池森典子		
	TOEICⅡ	G-FL-202L	講義		2	(2)	2	後	平山・池森・笠本		
	応用英語Ⅰ	G-FL-203L	講義		2	(2)	2	前	高垣・高島・平山		
	応用英語Ⅱ	G-FL-204L	講義		2	(2)	2	後	高垣・高島・平山		
	上級英語Ⅰ	G-FL-301L	講義			2	3	前	高垣俊之・平山直樹		
	上級英語Ⅱ	G-FL-302L	講義			2	3	後	高垣俊之・平山直樹		
	ドイツ語Ⅰ	G-FL-111L	講義			2	1	前	中村道一・名倉周平		
	ドイツ語Ⅱ	G-FL-112L	講義			2	1	後	中村道一・名倉周平		
	フランス語Ⅰ	G-FL-121L	講義			2	1	前	渡 部 浩 見		
	フランス語Ⅱ	G-FL-122L	講義			2	1	後	渡 部 浩 見		
	中国語Ⅰ	G-FL-131L	講義			2	1	前	張 治 清		
	中国語Ⅱ	G-FL-132L	講義			2	1	後	張 治 清		
	日本語Ⅰ	G-FL-141L	講義			2	1	前	坂 本 はるえ		
	日本語Ⅱ	G-FL-142L	講義			2	1	後	坂 本 はるえ		
	海外語学実践Ⅰ	G-FL-151L	講義			2	1・2	後・前	高垣俊之・小林ドーン		
	海外語学実践Ⅱ	G-FL-251L	講義			2	2	前・後	高垣俊之・小林ドーン		

2 経済情報学部 経済情報学科

開講年次から履修することが可能。

区分	授業科目の名称	科目ナンバリング	授業の方法	単位数						開講年次	開講学期	担当教員	備考	
				共通必修	経済コース必修	選択必修	経営コース必修	選択必修	情報コース必修					選択必修
専門基礎科目	経済学入門Ⅰ（ミクロ）	E-EC-101L	講義	2						1	前	堀江進也	1.共通必修科目 12科目23単位 2.コース別必修科目 ・経済2科目4単位 ・経営2科目4単位 ・情報3科目5単位 選択必修科目 ・経済7科目14単位 ・経営7科目14単位 ・情報7科目13単位 選択必修科目及び選択科目から ・経済63単位以上 ・経営63単位以上 ・情報62単位以上	
	経済学入門Ⅱ（マクロ）	E-EC-102L	講義	2						1	後	井本伸剛		
	経営学入門	E-MN-101L	講義	2						1	後	西本剛		
	簿記入門	E-MN-102L	講義	2						1	前	田中政旭・津村怜花		
	商業簿記	E-MN-201L	講義			2		2		2	2	前		芝田全弘
	工業簿記	E-MN-202L	講義			2		2		2	2	前		関下弘樹
	情報とコンピュータ	E-IN-102L	講義	2						1	後	秋川元宏		
	情報活用基礎Ⅰ	E-IN-101P	実習	1						1	前	宮川・白石・松本		
	情報活用基礎Ⅱ	E-IN-103P	実習			1		1		1	後	高山毅・松本慎平		
	ファイナンシャル・プランニング	E-CS-103L	講義			2		2		2	1	後		小泉伸
共通専門科目	統計学Ⅰ	E-CS-104L	講義			2		2		2	1	後	宮川貴史・白石希典	
	統計学Ⅱ	E-CS-202L	講義			2		2		2	2	前	白石希典	
	基礎数学Ⅰ	E-CS-203L	講義	2						1	後	宮川貴史・南郷毅		
	基礎数学Ⅱ	E-CS-204L	講義			2		2		2	前	宮川貴史		
	財政学Ⅰ	E-EC-205L	講義			2		2		2	2	集中	中嶋則夫	
	財政学Ⅱ	E-EC-206L	講義			2		2		2	2	後	金田陸幸	
	金融論Ⅰ	E-EC-207L	講義			2		2		2	2	前	神崎稔章	
	金融論Ⅱ	E-EC-208L	講義			2		2		2	2	後	神崎稔章	
	経済政策Ⅰ	E-EC-209L	講義			2		2		2	2	前	高羅ひとみ	
	経済政策Ⅱ	E-EC-210L	講義			2		2		2	2	後	高羅ひとみ	
	経営学総論	E-MN-205L	講義			2		2		2	2	前	西村剛	
	情報と倫理	E-IN-106L	講義			2		2		2	1	前	金江進也	
	経済経営情報実習	E-IN-203P	実習			1		1		1	2	後	堀江進也	
	多変量解析	E-EC-301L	講義			2		2		2	3	後	白石希典	
	民法	E-CS-201L	講義			2		2		2	2	前	王佳子	
	企業法	E-MN-208L	講義			2		2		2	2	後	王佳子	
	商法	E-MN-209L	講義			2		2		2	2	後	松原正至	
	行政法	E-MN-311L	講義			2		2		2	3	前	檜垣宏太	
	外国語講読	E-CS-208L	講義			2		2		2	2	後	林直樹	
ビジネス英語	E-CS-207L	講義			2		2		2	2	後	三上ジュディス		
演習	基礎演習Ⅰ	E-CS-101S	演習	2				2		1	前	専任教員		
	基礎演習Ⅱ	E-CS-102S	演習			2		2		2	1	後	専任教員	
	専門演習Ⅰa	E-CS-301S	演習	2						3	前	専任教員		
	専門演習Ⅰb	E-CS-302S	演習	2						3	後	専任教員		
	専門演習Ⅱa（卒業研究）	E-CS-401T	演習	2						4	前	専任教員		
	専門演習Ⅱb（卒業研究）	E-CS-402T	演習	2						4	後	専任教員		
	特別演習Ⅰ	E-CS-211S	演習			2		2		2	前	専任教員		
	特別演習Ⅱ	E-CS-212S	演習			2		2		2	後	専任教員		
	特別演習Ⅲ	E-CS-213S	演習			2		2		2	前	専任教員		
	特別演習Ⅳ	E-CS-214S	演習			2		2		2	後	専任教員		
経済系	特別演習Ⅴ	E-CS-215Z	演習			2		2		1・2	後・前	専任教員		
	特別演習Ⅵ	E-CS-216Z	演習			2		2		2	前・後	専任教員		
	ミクロ経済学Ⅰ	E-EC-201L	講義		2			2		2	2	前	堀江進也	
	ミクロ経済学Ⅱ	E-EC-202L	講義			2		2		2	2	後	堀江進也	
	マクロ経済学Ⅰ	E-EC-203L	講義		2			2		2	2	前	井本伸	
	マクロ経済学Ⅱ	E-EC-204L	講義			2		2		2	2	後	井本伸	
	環境経済学	E-EC-215L	講義			2		2		2	2	後	岡本隼輔	
	計量経済学	E-EC-302L	講義			2		2		2	3	前	岡本隼輔	
	経済学史	E-EC-211L	講義			2		2		2	2	前	林直樹	
	経済史	E-EC-212L	講義			2		2		2	2	集中	東野将伸	
	日本経済史	E-EC-213L	講義			2		2		2	2	集中	野下義記	
	地域経済史	E-EC-303L	講義			2		2		2	3	前	八幡浩二	
	産業組織論	E-EC-312L	講義			2		2		2	3	後	荒井貴史	
	日本経済論	E-EC-214L	講義			2		2		2	2	後	林直樹	
	社会政策	E-EC-305L	講義			2		2		2	3	集中	堀川直樹	
	社会保障	E-EC-306L	講義			2		2		2	3	前	佐藤愛佳	
	国際経済学	E-EC-307L	講義			2		2		2	3	前	岡本隼輔	
	国際金融論	E-EC-308L	講義			2		2		2	3	後	神崎稔章	
	公共経済学	E-EC-309L	講義			2		2		2	3	前	荒井貴史	
主要専門科目	地方財政論	E-EC-310L	講義			2		2		2	3	前	小嶋寿史	
	アジア経済事情	E-EC-311L	講義			2		2		2	3	前	神崎稔章	
	経営組織論	E-MN-206L	講義			2		2		2	2	後	横澤幸久	
	マーケティング論	E-MN-301L	講義			2		2		2	2	後	渡邊幸宏	
	経営戦略論	E-MN-207L	講義			2		2		2	2	前	横澤幸宏	
	経営管理論	E-MN-302L	講義			2		2		2	2	前	瀬戸正則	
	企業論	E-MN-313L	講義			2		2		2	3	前	横澤幸宏	
	国際経営論	E-MN-303L	講義			2		2		2	3	後	金信	
	経営史	E-MN-213L	講義			2		2		2	2	前	西村剛	
	租税論Ⅰ	E-MN-214L	講義			2		2		2	2	後	北野富士和	
	租税論Ⅱ	E-MN-314L	講義			2		2		2	3	後	北野富士和	
	会計学概論	E-MN-103L	講義			2		2		2	1	後	津村怜花	
	経営分析論	E-MN-304L	講義			2		2		2	3	前	芝田全弘	
	財務管理論	E-MN-305L	講義			2		2		2	3	後	関下弘樹	
	税務会計論	E-MN-306L	講義			2		2		2	3	前	北野富士和	
	管理会計論	E-MN-307L	講義			2		2		2	3	前	田中政旭	
	財務会計論	E-MN-203L	講義			2		2		2	2	後	津村怜花	
	監査論	E-MN-308L	講義			2		2		2	3	集中	井上善弘	
	情報系	原価計算論	E-MN-204L	講義			2		2		2	2	後	田中政旭
製品開発論		E-MN-211L	講義			2		2		2	2	後	趙怡純	
国際法		E-MN-215L	講義			2		2		2	2	前	吉良悟	
消費者行動論		E-MN-312L	講義			2		2		2	3	後	渡邊久晃	
プログラミングⅠ		E-IN-104L	講義			2		2		2	1	後	木村文則	
プログラミングⅠ実習		E-IN-105P	実習			1		1		1	1	後	有吉・秋川・松本	
プログラミングⅡ		E-IN-204L	講義			2		2		2	2	前	高山毅	
プログラミングⅡ実習		E-IN-205P	実習			1		1		1	2	前	高山毅	
ゲームプログラミングⅠ		E-IN-212L	講義			2		2		2	2	前	秋川元宏	
ゲームプログラミングⅡ		E-IN-213L	講義			2		2		2	2	後	秋川元宏	
機械学習と人工知能		E-IN-210L	講義			2		2		2	2	後	本田治・木村文則	
情報基礎理論		E-IN-208L	講義			2		2		2	2	後	有吉・本田・秋川	
データ構造とアルゴリズム		E-IN-211L	講義			2		2		2	2	前	本田治	
マルチメディア論		E-IN-207L	講義			2		2		2	2	後	本村文則	
離散数学		E-IN-312L	講義			2		2		2	3	前	南郷毅	
ネットワーク科学		E-IN-301L	講義			2		2		2	3	前	本有吉	
情報システム設計論		E-IN-303L	講義			2		2		2	3	前	本有吉	
情報システム設計実習		E-IN-304P	実習			1		1		1	3	前	有吉・勇介	
データベース		E-IN-305L	講義			2		2		2	3	後	高山毅	
ビッグデータ活用	E-IN-306L	講義			2		2		2	3	前	木村文則		
CGと画像解析	E-IN-209L	講義			2		2		2	2	後	山本めぐみ		
ビジネスとデータサイエンス	E-IN-308L	講義			2		2		2	3	前	渡邊久晃		
情報セキュリティ	E-IN-311L	講義			2		2		2	3	後	秋元宏男		
システム監査とITマネジメント	E-IN-309L	講義			2		2		2	3	集中	佐藤愛佳		
情報と職業	E-IN-310L	講義			2		2		2	3	後	飯川正信		
職業指導系Ⅰ 職業指導	E-CS-303L	講義			2		2		2	3	後	餅川正行		

3 芸術文化学部 日本文学科

開講年次から履修することが可能。

区分	授業科目の名称	科目 ナンバリング	授業の 方法	単位数 必修 選択	開講 年次	開講 学期	担当教員	備考
学部 科目共通	芸術文化論	J-IC-201L	講義	2	2	集中	深谷 訓子	2 科目 4 単位以上
	日本文化史	J-IC-211L	講義	2	2	後	米倉 広晃	
	比較芸術論	J-IC-302L	講義	2	3	集中	足立 恵理子	
	瀬戸内文化論	J-IC-312L	講義	2	3	前	藤井 佐美	
日本文学系	日本文学概論	J-JLT-101L	講義	2	1	前	宮谷 聡美	2 単位必修
	日本文学史Ⅰ（上代）	J-JLT-111L	講義	2	1	前	松田 聡美	
	日本文学史Ⅱ（中古）	J-JLT-212L	講義	2	2	前	宮谷 聡美	2 科目 4 単位以上
	日本文学史Ⅲ（中世）	J-JLT-213L	講義	2	1	後	藤川 功和	
	日本文学史Ⅳ（近世）	J-JLT-214L	講義	2	1	後	吉田 宰史	5 科目 10 単位以上
	日本文学史Ⅴ（近代）	J-JLT-115L	講義	2	1	前	原 卓	
	日本文学講読Ⅰ（上代）	J-JLT-221L	講義	2	2	前	松田 聡美	
	日本文学講読Ⅱ（中古）	J-JLT-222L	講義	2	2	後	宮谷 聡美	
	日本文学講読Ⅲ（中世）	J-JLT-223L	講義	2	2	前	藤川 功和	
	日本文学講読Ⅳ（近世）	J-JLT-224L	講義	2	2	前	吉田 宰史	
	日本文学講読Ⅴ（近現代）	J-JLT-225L	講義	2	2	後	原 卓	
	日本文学講読Ⅵ（近現代）	J-JLT-226L	講義	2	2	後	柴市 郎	
	日本文学講義Ⅰ（上代～中世）	J-JLT-331L	講義	2	3	前	藤川 功和	
	日本文学講義Ⅱ（近世）	J-JLT-332L	講義	2	3	後	吉田 宰史	
	日本文学講義Ⅲ（近現代）	J-JLT-333L	講義	2	3	前	柴市 郎	
	日本文学講義Ⅳ（近現代）	J-JLT-334L	講義	2	3	後	原 卓	
	日本文学特殊講義	J-JLT-435L	講義	2	4	前	宮谷 聡美	
日本語学系	日本語概論	J-JLN-101L	講義	2	1	前	灰谷 謙二	必修 2 科目 4 単位を含め、 10 単位以上
	日本語表現法	J-JLN-101S	演習	2	1	前・後	高島 彬	
	日本語史	J-JLN-202L	講義	2	2	前	藤本 真理子	
	日本語学講義Ⅰ（古典語）	J-JLN-211L	講義	2	2	後	藤本 真理子	
	日本語学講義Ⅱ（現代語）	J-JLN-212L	講義	2	2	後	灰谷 謙二	
中国欧米文学	日本語学講義Ⅲ（古典語）	J-JLN-313L	講義	2	3	後	藤本 真理子	必修 2 科目 4 単位を含め、 8 単位以上
	日本語学講義Ⅳ（現代語）	J-JLN-314L	講義	2	3	前	灰谷 謙二	
	中国文学概論	J-CW-101L	講義	2	1	後	鷹橋 明久	
	中国文学講読	J-CW-211L	講義	2	2	前	鷹橋 明久	
	中国文学講義	J-CW-312L	講義	2	3	前	鷹橋 明久	
関連科目	欧米文学概論	J-CW-102L	講義	2	1	後	小畑 拓也	10 単位以上
	欧米文学講義	J-CW-213L	講義	2	2	後	小畑 拓也	
	比較文学	J-CW-314L	講義	2	3	前	小畑 拓也	3 科目 6 単位必修
	日本歴史概説Ⅰ	J-RE-201L	講義	2	2	前	米倉 広晃	
	日本歴史概説Ⅱ	J-RE-202L	講義	2	2	後	米倉 広晃	2 科目 4 単位以上
	美学	J-RE-111L	講義	4	1	通年	西嶋 亜美	
	日本美術史Ⅰ	J-RE-112L	講義	2	1	前	市川 彰彰	2 科目 4 単位以上
	日本美術史Ⅱ	J-RE-113L	講義	2	1	後	市川 彰彰	
	東洋美術史Ⅰ	J-RE-114L	講義	2	1	集中	高橋 早紀子	2 科目 4 単位以上
	東洋美術史Ⅱ	J-RE-115L	講義	2	1	集中	古名 悠美	
	西洋美術史Ⅰ	J-RE-116L	講義	2	1	前	西嶋 亜美	2 科目 4 単位以上
	西洋美術史Ⅱ	J-RE-117L	講義	2	1	後	西嶋 亜美	
	書道Ⅰ	J-RE-221L	講義	2	2	前	矢原 徳子	2 科目 4 単位以上
	書道Ⅱ	J-RE-222L	講義	2	2	後	矢原 徳子	
	民話研究	J-RE-203L	講義	2	2	後	藤井 佐美	2 科目 4 単位以上
	民俗学Ⅰ	J-RE-304L	講義	2	3	前	藤井 佐美	
	民俗学Ⅱ	J-RE-305L	講義	2	3	後	藤井 佐美	2 科目 4 単位以上
	古文書学	J-RE-323L	講義	2	3	集中	水野 椋太	
	文芸創作入門	J-RE-131S	演習	2	1	後	小畑 拓也	2 科目 4 単位以上
	文芸創作特別演習	J-RE-332S	演習	2	3	後	原・鷹橋・柴	
	情報処理演習	J-RE-141S	演習	2	1	集中	久保 博雅	2 科目 4 単位以上
	フィールドワーク	J-RE-342S	演習	2	3	通年	専任 教員	
	日本文学のための英語	J-RE-343L	講義	2	3	後	高垣 俊之	2 科目 4 単位以上
	言語学講義	J-RE-204L	講義	2	2	前	高島 彬	
	日本文学と現代思想	J-RE-205L	講義	2	2	後	島田 喜行	2 科目 4 単位以上
	古典文学基礎演習	J-SG-101S	演習	2	1	前・後	藤川 功和	
卒論	近現代文学基礎演習	J-SG-102S	演習	2	1	前・後	柴市 郎	2 科目 4 単位以上
	日本語学基礎演習	J-SG-103S	演習	2	1	前・後	藤本 真理子	
	中古文学専門演習 a	J-SG-310S	演習	2	2	前	宮谷 聡美	2 科目 4 単位以上
	中古文学専門演習 b	J-SG-311S	演習	2	2	後	宮谷 聡美	
	中世文学専門演習 a	J-SG-312S	演習	2	2	前	藤川 功和	2 科目 4 単位以上
	中世文学専門演習 b	J-SG-313S	演習	2	2	後	藤川 功和	
	近世文学専門演習 a	J-SG-314S	演習	2	2	前	吉田 宰史	2 科目 4 単位以上
	近世文学専門演習 b	J-SG-315S	演習	2	2	後	吉田 宰史	
	近現代文学専門演習Ⅰ a	J-SG-316S	演習	2	2	前	原 卓	2 科目 4 単位以上
	近現代文学専門演習Ⅰ b	J-SG-317S	演習	2	2	後	原 卓	
	近現代文学専門演習Ⅱ a	J-SG-318S	演習	2	2	前	柴市 郎	2 科目 4 単位以上
	近現代文学専門演習Ⅱ b	J-SG-319S	演習	2	2	後	柴市 郎	
	現代語学専門演習 a	J-SG-321S	演習	2	2	前	灰谷 謙二	2 科目 4 単位以上
	現代語学専門演習 b	J-SG-322S	演習	2	2	後	灰谷 謙二	
	古典語学専門演習 a	J-SG-323S	演習	2	2	前	藤本 真理子	2 科目 4 単位以上
	古典語学専門演習 b	J-SG-324S	演習	2	2	後	藤本 真理子	
	言語学専門演習 a	J-SG-325S	演習	2	2	前	高島 彬	2 科目 4 単位以上
	言語学専門演習 b	J-SG-326S	演習	2	2	後	高島 彬	
	中国文学専門演習 a	J-SG-331S	演習	2	2	前	鷹橋 明久	2 科目 4 単位以上
	中国文学専門演習 b	J-SG-332S	演習	2	2	後	鷹橋 明久	
	欧米文学専門演習 a	J-SG-341S	演習	2	2	前	小畑 拓也	2 科目 4 単位以上
	欧米文学専門演習 b	J-SG-342S	演習	2	2	後	小畑 拓也	
	文芸創作専門演習 a	J-SG-351S	演習	2	2	前	小林 敦子	2 科目 4 単位以上
	文芸創作専門演習 b	J-SG-352S	演習	2	2	後	小林 敦子	
	国語教育学専門演習 a	J-SG-361S	演習	2	2	前	山田 和夫	2 科目 4 単位以上
	国語教育学専門演習 b	J-SG-362S	演習	2	2	後	山田 和夫	
	伝承文学専門演習 a	J-SG-371S	演習	2	2	前	藤井 佐美	2 科目 4 単位以上
	伝承文学専門演習 b	J-SG-372S	演習	2	2	後	藤井 佐美	
	卒業論文（構想・準備）	J-SG-481T	演習	2	4	前	専任 教員	2 科目 4 単位必修
	卒業論文（制作）	J-SG-482T	演習	2	4	前・後	専任 教員	

4 芸術文化学部 美術学科

開講年次から履修することが可能。

区分		授業科目の名称	科目 ナンバリング	授業の 方 法	単位数 必修 選択		開講 年次	開講 学期	担当教員	備考	
学部共通科目		芸術文化論	A-IC-201L	講義		2	2	集中	深 谷 訓 子	4 単位以上	
		日本文化史	A-IC-231L	講義		2	2	後	米 倉 広 晃		
		比較芸術論	A-IC-301L	講義		2	3	集中	足 立 恵理子		
		瀬戸内文化論	A-IC-431L	講義		2	3	前	藤 井 佐 美		
専門基幹科目		美学	A-SF-101L	講義	4		1	通年	西 嶋 亜 美	必修 1 科目 4 単位を 含め、20 単位以上	
		日本美術史Ⅰ	A-SF-102L	講義		2	1	前	市 川 彰		
		日本美術史Ⅱ	A-SF-103L	講義		2	1	後	市 川 彰		
		東洋美術史Ⅰ	A-SF-104L	講義		2	1	集中	高 橋 早紀子		
		東洋美術史Ⅱ	A-SF-105L	講義		2	1	集中	苦 名 悠		
		西洋美術史Ⅰ	A-SF-106L	講義		2	1	前	西 嶋 亜 美		
		西洋美術史Ⅱ	A-SF-107L	講義		2	1	後	西 嶋 亜 美		
		デザイン史Ⅰ	A-SF-109L	講義		2	1	前	多田羅 景 太		
		デザイン史Ⅱ	A-SF-110L	講義		2	1	後	多田羅 景 太		
		デザイン論	A-SF-111L	講義		2	1	前	林・勝目・井村・伊藤 黒田・西原・白木		
		美術解剖学	A-SF-112L	講義		2	1	集中	岩 井 治 樹		
		空間造形論	A-SF-211L	講義		2	2	後	小野・松岡・稲川 渡邊・山本		
		図法及び製図	A-SF-121S	演習		2	1	後	渡 邊 義 孝		
		金工演習	A-SF-221S	演習		2	2	後	勝 目 祥 二		
		写真（映像）演習	A-SF-122S	演習		2	1	前・後	野 田 尚 之		
		木工演習	A-SF-123S	演習		2	1	後	林 宏・松本祐助		
		塗装法演習	A-SF-124S	演習		2	1	前	林・田代・吉田		
		壁画技法演習	A-SF-222S	演習		2	2	集中	菅 原 智 子		
	テンペラ画技法演習	A-SF-223S	演習		2	2	集中	赤 木 範 陸			
	版画制作演習	A-SF-224S	演習		2	2	前・後	武雄文子・藤田紗衣			
基礎造形科目		デッサン基礎実習	A-FS-101P	実習	4		1	通年	小野・中村・林	必修 4 科目 14 単位	
		構成実習	A-FS-102P	実習		2		1	通年		林・中村・小野
		彫刻	A-FS-103P	実習	4		1	通年	秋 山 隆		
		総合基礎実習	A-FS-104P	実習	4		1	通年	中村・小野・林		
専門実習科目	日本画	日本画実習Ⅰ	A-SJ-201P	実習		12	2	通年	中村・鈴木・山梨	専門実習科目については、 日本画、油画、デザインの 3 コース別に分かれる。 必修 2 科目 14 単位を含 め、50 単位以上	
		日本画実習Ⅱ	A-SJ-301P	実習		14	3	通年			
		日本画実習Ⅲ	A-SJ-401P	実習		10	4	通年			
	油画	油画実習Ⅰ	A-SO-211P	実習		12	2	通年	小野・稲川 橋野・西村		
		油画実習Ⅱ	A-SO-311P	実習		14	3	通年			
		油画実習Ⅲ	A-SO-411P	実習		10	4	通年			
	デザイン	デザイン実習Ⅰ	A-SD-221P	実習		12	2	通年	林・勝目・井村・伊藤 黒田・西原		
		デザイン実習Ⅱ	A-SD-321P	実習		14	3	通年			
		デザイン実習Ⅲ	A-SD-421P	実習		10	4	通年			
		古美術研究（演習）	A-SJ-302S A-SO-312S A-SD-322S	演習	4		3	通年	専 任 教 員		
	卒業制作	A-SJ-402T A-SO-412T A-SD-422T	実習	10		4	通年	専 任 教 員			
関連科目		文化財保存学概論	A-RC-101L	講義		2	1	集中	山 田 祐 子	2 科目 4 単位以上	
		人間工学概論	A-RC-231L	講義		2	2	集中	神 邊 篤 史		
		情報機能論	A-RC-201L	講義		2	2	後	西原・今氏・佐古・加藤 玉木・野田・弥中		
		書道	A-RC-221L	講義		2	1	前	矢 原 徳 子		
		古文書学	A-RC-323L	講義		2	3	集中	水 野 椋 太		
		メディアグラフィックス概論	A-RC-202L	講義		2	2	後	山 本 めぐみ		
		編集とデザイン	A-RC-224L	講義		2	2	前	小畑拓也・伊藤麻子		
		情報処理演習	A-RC-141S	演習		2	1	集中	久 保 博 雅		
		言語学講義	A-RC-232L	講義		2	2	前	高 島 彬		

Ⅳ 履修モデル

経済情報学部経済情報学科経済コース履修モデル

経済、社会の仕組みを理解するとともに、ＩＣＴを活用した経済、社会現象に関する情報収集、データ解析の方法を学び、国際社会、地域経済における企画・政策立案能力を持つことを目指します。

激変する日本および世界経済の動向を見極め、コミュニケーション能力と経済学の専門知識を十二分に駆使して、地域や世界各地で活躍できる経済人を育成します。

〔想定される進路〕①行政機関におけるＩＣＴを活用した企画、政策の立案、実行

②企業、行政機関における情報活用システムの企画、事務、営業

③金融機関における業務

区 分		1 年	2 年	3 年	4 年	単 位 修 得	
教 養 教 育 科 目	地域・ キャリア系	尾道学入門（２） ★キャリア形成入門（２）	キャリア形成演習（２）				24 単 位 以 上
	人 文 科 学	人生の哲学（２） 東洋思想（２）	生命倫理（２）			4 単 位 以 上	
	社 会 科 学	日本歴史の流れ（２） 社会思想史（２） 法学概論（２）	民法入門（２） 社会学入門（２）	日本国憲法（２）		4 単 位 以 上	
	自 然 科 学	教養数学（２） 情報科学入門（２）	科学技術の進歩（２）	生物科学入門（２）		4 単 位 以 上	
	健康 スポーツ	★健康スポーツ実習Ⅰ（１）	健康スポーツ実習Ⅱ（１）			必修１科目１単位 を含めて２単位以上	
	外 国 語	★総合英語Ⅰ（２） ★総合英語Ⅱ（２） ドイツ語Ⅰ（２） ドイツ語Ⅱ（２）	☆応用英語Ⅰ（２） ☆応用英語Ⅱ（２） ☆TOEICⅠ（２） ☆TOEICⅡ（２）			必修２科目４単位、 選択必修２科目 ４単位を含めて 12単位以上	
専 門 教 育 科 目	専 門 基 礎 科 目	★基礎数学Ⅰ（２） ★経済学入門Ⅰ（ミクロ）（２） ★経済学入門Ⅱ（マクロ）（２） ★経営学入門（２） ★簿記入門（２） 統計学Ⅰ（２） ★情報とコンピュータ（２） ★情報活用基礎Ⅰ（１）	○基礎数学Ⅱ（２） 統計学Ⅱ（２）			共通必修12科 目23単位以上、 経済コース必修 ２科目４単位以 上、経済コース 選択必修7科目 14単位以上、 経済コース選択 必修科目を含め て63単位以上	
	共 通 専 門 科 目		○財政学Ⅰ（２） 財政学Ⅱ（２） ○金融論Ⅰ（２） 金融論Ⅱ（２） 経済政策Ⅰ（２） 経済政策Ⅱ（２）	民法（２） 企業法（２） 商法（２） 行政法（２） 多変量解析（２） 経済経営情報実習（１） ビジネス英語（２）			
	演 習	★基礎演習Ⅰ（２）		★専門演習Ⅰa（２） ★専門演習Ⅰb（２）	★専門演習Ⅱa（卒業研究）（２） ★専門演習Ⅱb（卒業研究）（２）		
	主 要 専 門 科 目	経 済 系	●ミクロ経済学Ⅰ（２） ○ミクロ経済学Ⅱ（２） ●マクロ経済学Ⅰ（２） ○マクロ経済学Ⅱ（２） ○日本経済史（２） ○経済学史（２）	○計量経済学（２） 地域経済史（２） ○社会政策（２） 社会保障（２） ○国際経済学（２） ○産業組織論（２） ○公共経済学（２） 地方財政論（２） アジア経済事情（２）			
		経 営 系		○経営組織論（２） ○経営戦略論（２）	租税論Ⅰ（２） 経営管理論（２）		
		情 報 系	○プログラミングⅠ（２） ○プログラミングⅠ実習（１）	○機械学習と人工知能（２）			
合計単位		47 単位	47 単位	45 単位	8 単位	147 単位 (128 単位以上)	

★ 共通必修科目 ☆ 共通選択必修科目 ● 経済コース必修科目 ○ 経済コース選択必修科目

（注意）原則として１年間に履修できる単位の上限は４７単位です。適切に履修の計画を立てましょう。

経済情報学部経済情報学科経営コース履修モデル

企業経営及び社会経済の仕組みを理解するとともに、情報ツールを活用した企業経営に関する情報収集、データ解析方法を学び、将来企業における高度な経営戦略立案能力を持つことを目指します。企業経営の担い手として、経営学をはじめ、経済学、情報科学の知識を駆使して、地域経済ないしグローバル社会に貢献できる人材を育成します。

〔想定される進路〕①企業マネジメント全般への参画

②企業における経営情報を活用した経営組織の在り方や経営戦略の立案、実行

③企業における経営情報活用システムの立案、実行

区 分		1 年	2 年	3 年	4 年	単 位 修 得	
教 養 教 育 科 目	地域・ キャリア系	尾道学入門（2） ★キャリア形成入門（2）	キャリア形成演習（2）				24 単 位 以 上
	人 文 科 学	人生の哲学（2） 文章表現法(学術的文章)(2)		文章表現法(実用的文章)(2)		4単位 以上	
	社 会 科 学	法学概論（2） 民法入門（2） 社会学入門（2）	日本国憲法（2）			4単位 以上	
	自 然 科 学	教養数学（2）		情報科学入門（2） 数理・データサイエンス・AI入門(2)		4単位 以上	
	健 康 ス ポ ー ツ	★健康スポーツ実習Ⅰ（1）	健康スポーツ実習Ⅱ（1）			必修1科目1単位 を含めて2単位以上	
	外 国 語	★総合英語Ⅰ（2） ★総合英語Ⅱ（2） ドイツ語Ⅰ（2） ドイツ語Ⅱ（2）	☆TOEICⅠ（2） ☆TOEICⅡ（2）	☆応用英語Ⅰ（2） ☆応用英語Ⅱ（2）		必修2科目4単位、 選択必修2科目 4単位を含めて 12単位以上	
専 門 教 育 科 目	専 門 基 礎 科 目	★基礎数学Ⅰ（2） ★経済学入門Ⅰ(ミクロ)（2） ★経済学入門Ⅱ(マクロ)（2） ★経営学入門（2） ★簿記入門（2） ★情報とコンピュータ(2) ★情報活用基礎Ⅰ（1） 統計学Ⅰ（2）	○商業簿記（2） ○工業簿記（2） 基礎数学Ⅱ（2） 統計学Ⅱ（2）			共通必修12科 目23単位以上、 経営コース必修 2科目4単位以 上、経営コース 選 択 必 修 7 科 目14単位以上、 経営コース選択 必修科目を含め て63単位以上	
		共通 専門 科目		○経営学総論（2） ○民法（2） ○商法（2） 企業法（2）	金融論Ⅰ（2） 金融論Ⅱ（2）		外国書講読（2）
		演 習	★基礎演習Ⅰ（2）		★専門演習Ⅰa（2） ★専門演習Ⅰb（2）		★専門演習Ⅱa（卒業研究）(2) ★専門演習Ⅱb（卒業研究）(2)
	主 要 専 門 科 目	経済系	○ミクロ経済学Ⅰ（2） ○マクロ経済学Ⅰ（2）	産業組織論（2） 社会政策（2）			
		経営系	○会計学概論（2）	●経営組織論（2） ●経営戦略論（2） ○経営管理論（2） ○マーケティング論（2） ○財務会計論（2） 経営史（2） 原価計算論（2） 租税論Ⅰ（2） 国際法（2）	○国際経営論（2） ○消費者行動論（2） ○管理会計論（2） ○経営分析論（2） ○税務会計論（2） 企業論（2） 租税論Ⅱ（2） 製品開発論（2） 監査論（2） 財務管理論（2）		
		情報系	○プログラミングⅠ（2） ○プログラミングⅠ実習（1）		ビジネスとデータサイエンス(2)		マルチメディア論（2）
合計単位		47 単位	47 単位	44 単位	8 単位	146 単位 (128 単位以上)	

★ 共通必修科目 ☆ 共通選択必修科目 ● 経営コース必修科目 ○ 経営コース選択必修科目

(注意) 原則として1年間に履修できる単位の上限は47単位です。適切に履修の計画を立てましょう。

経済情報学部経済情報学科情報コース履修モデル

現代社会の基盤となっている情報技術の基本原則を学び、経済社会における課題を解決する情報システムの設計から運用までを担当する能力を身につけることを目指します。情報産業をはじめとして、一般企業内でも、情報技術に裏付けされた、経済・経営・数理分析に強い人材を育成します。

〔想定される進路〕①情報関連の企業・組織における次世代のシステム・サービス・技術の研究開発

②企業・組織の経営戦略に基づいた、情報技術を駆使したIT戦略の提案・策定とその実現の推進

③企業・組織におけるIT戦略実現のための最適な情報システムの設計とその構築の指揮

区 分		1 年	2 年	3 年	4 年	単 位 修 得	
教 養 教 育 科 目	地域・キャリア系	尾道学入門 (2) ★キャリア形成入門 (2)	キャリア形成演習 (2)				24 単位以上
	人文科学	人生の哲学 (2)	論理学 (2) 文章表現法(学術的文章) (2)			4 単位以上	
	社会科学	世界歴史の流れ (2) 法学概論 (2)	日本国憲法 (2)			4 単位以上	
	自然科学	教養数学 (2) 情報科学入門 (2)		人間工学概論 (2)		4 単位以上	
	健康スポーツ	★健康スポーツ実習 I (1)	健康スポーツ実習 II (1)			必修 1 科目 1 単位 を含めて 2 単位以上	
	外国語	★総合英語 I (2) ★総合英語 II (2) ドイツ語 I (2) ドイツ語 II (2)	☆応用英語 I (2) ☆応用英語 II (2)	☆TOEIC I (2) ☆TOEIC II (2)	上級英語 I (2) 上級英語 II (2)	必修 2 科目 4 単位, 選択必修 2 科目 4 単位を含めて 12 単位以上	
専 門 教 育 科 目	専門基礎科目	★基礎数学 I (2) ★経済学入門 I (ミクロ) (2) ★経済学入門 II (マクロ) (2) ★経営学入門 (2) ★簿記入門 (2) ★情報とコンピュータ (2) ★情報活用基礎 I (1) ○情報活用基礎 II (1) ○統計学 I (2)	○基礎数学 II (2) 統計学 II (2)	工業簿記 (2)		共通必修 12 科目 23 単位以上, 情報コース必修 3 科目 5 単位以上, 情報コース 選択必修 7 科目 13 単位以上, 情報コース選択 必修科目を含めて 62 単位以上	
	共通専門科目	情報と倫理 (2)	経営学総論 (2)	多変量解析 (2) 民法 (2) 商法 (2) 企業法 (2) ビジネス英語 (2)			
	演習	★基礎演習 I (2)		★専門演習 I a (2) ★専門演習 I b (2)	★専門演習 II a (卒業研究) (2) ★専門演習 II b (卒業研究) (2)		
	経済系		○ミクロ経済学 I (2) ○マクロ経済学 I (2)				
	経営系		○経営組織論 (2) ○経営戦略論 (2) 会計学概論 (2)	マーケティング論 (2) 経営分析論 (2)			
	情報系	●プログラミング I (2) ●プログラミング I 実習 (1)	●機械学習と人工知能 (2) ○プログラミング II (2) ○プログラミング II 実習 (1) ○情報基礎理論 (2) マルチメディア論 (2) CG と画像解析 (2) ○データ構造とアルゴリズム (2) ○ゲームプログラミング I (2) ゲームプログラミング II (2)	○ネットワーク科学 (2) ○データベース (2) ○情報システム設計論 (2) ○情報システム設計実習 (1) 離散数学 (2) 情報セキュリティ (2) ビッグデータ活用 (2) ビジネスとデータサイエンス (2) システム監査とITマネジメント (2) 情報と職業 (2)			
合計単位		46 単位	46 単位	45 単位	8 単位	145 単位 (128 単位以上)	

★ 共通必修科目 ☆ 共通選択必修科目 ● 情報コース必修科目 ○ 情報コース選択必修科目

(注意) 原則として 1 年間に履修できる単位の上限は 47 単位です。適切に履修の計画を立てましょう。

芸術文化学部日本文学科履修モデル 1

【大学院進学等研究職志向者対応型】

日本文学・日本語学の基礎知識や研究方法をしっかりと身につけて、将来専門の研究者として同じ分野の発展に寄与できる人材を育成します。

区 分		1 年	2 年	3 年	4 年	単 位 修 得	
教 養 教 育 科 目	地域・ キャリア系	尾道学入門（2）					24 単 位 以 上
	人文学	人生の哲学（2）	論理学（2） 心理学入門（2） 美術の歴史と鑑賞（2）			4単位 以上	
	社会科学	現代社会と人間行動（2） 世界歴史の流れ（2）	日本国憲法（2） 現代の経済学（2）			4単位 以上	
	自然科学	数理・データサイエンス・ AI入門（2）	物理学入門（2）	科学技術の進歩（2）		4単位 以上	
	健康 スポーツ	健康スポーツ実習Ⅰ（1）	健康スポーツ実習Ⅱ（1）			必修1科目1単位 を含め2単位以上	
	外国 語	総合英語Ⅰ（2） 総合英語Ⅱ（2） 中国語Ⅰ（2） 中国語Ⅱ（2）	応用英語Ⅰ（2） 応用英語Ⅱ（2）	上級英語Ⅰ（2） 上級英語Ⅱ（2）		必修2科目 4単位、 選択必修2科目 4単位を含め 12 単位以上	
専 門 教 育 科 目	学部 共通科目		芸術文化論（2） 日本文化史（2）	瀬戸内文化論（2）		2 科目 4 単位以上	
	日 本 文 学 系	日本文学概論（2）				1科目2単位必修	
		日本文学史Ⅰ（上代）（2） 日本文学史Ⅲ（中世）（2） 日本文学史Ⅳ（近世）（2）	日本文学史Ⅱ（中古）（2）			文学史5科目 10 単位の中から 2科目4単位以上	
			日本文学講読Ⅰ（上代）（2） 日本文学講読Ⅲ（中世）（2） 日本文学講読Ⅳ（近世）（2） 日本文学講読Ⅴ（近現代）（2）	日本文学講読Ⅱ（中古）（2） 日本文学講義Ⅰ（上代～中世）（2） 日本文学講義Ⅱ（近世）（2） 日本文学講義Ⅲ（近現代）（2）	日本文学特殊講義（2）	講読・講義 11 科目 22 単位の中から 5科目 10 単位以上	
	日本語学系	日本語学概論（2） 日本語表現法（2）	日本語史（2） 日本語学講義Ⅰ（古典語）（2）	日本語学講義Ⅲ（古典語）（2）		必修2科目 4単位を含め 10 単位以上	
	中国 文学系	中国文学概論（2） 欧米文学概論（2）	中国文学講読（2）	比較文学（2）		必修2科目 4単位を含め 8 単位以上	
	科 関 目 連	日本美術史Ⅰ（2） 日本美術史Ⅱ（2） 情報処理演習（2）	言語学講義（2） 日本文学と現代思想（2）	民俗学Ⅰ（2） 民俗学Ⅱ（2）	古文書学（2）	10 単位以上	
	演 習 ・ 卒 業 論 文	古典文学基礎演習（2） 近現代文学基礎演習（2） 日本語学基礎演習（2）				3科目 6単位必修	
		近世文学専門演習 a（2） 近世文学専門演習 b（2）	中古文学専門演習 a（2） 中古文学専門演習 b（2）		2科目 4 単位以上		
				卒業論文（構想・準備）（2） 卒業論文（制作）（2）	2科目 4 単位必修		
合計単位		47 単位	45 単位	28 単位	8 単位	128 単位 (124 単位以上)	

芸術文化学部日本文学科履修モデル2

【ジャーナリスト・出版関係就職希望者対応型】

日本文学・日本語学の基礎知識や研究方法をしっかりと身につけて、適切で効果的な文章表現ができ、創作活動や出版文書の編集に際して、創造的な能力を発揮できる人材を育成します。

区 分	1 年	2 年	3 年	4 年	単 位 修 得	
教 養 教 育 科 目	地域・ キャリア系	キャリア形成入門（2）				24 単 位 以 上
	人 文 科 学	人生の哲学（2） 東洋思想（2）	生命倫理（2） 心理学入門（2） メディアグラフィックス概論（2） 編集とデザイン（2）		4 単位 以上	
	社 会 科 学	現代社会と人間行動（2） 世界歴史の流れ（2）	日本国憲法（2） 社会学入門（2）		4 単位 以上	
	自 然 科 学	数理・データサイエンス・ AI入門（2）	物理学入門（2）	統計学Ⅰ（2）	4 単位 以上	
	健 康 ス ポ ー ツ	健康スポーツ実習Ⅰ（1）	健康スポーツ実習Ⅱ（1）		必修1科目1単位 を含め2単位以上	
	外 国 語	総合英語Ⅰ（2） 総合英語Ⅱ（2）	応用英語Ⅰ（2） 応用英語Ⅱ（2）	フランス語Ⅰ（2） フランス語Ⅱ（2）	必修2科目 4単位、 選択必修2科目 4単位を含め 12 単位以上	
専 門 教 育 科 目	学部 共通科目		芸術文化論（2） 日本文化史（2）	瀬戸内文化論（2）		2科目 4単位以上
	日 本 文 学 系	日本文学概論（2）				1科目2単位必修
		日本文学史Ⅰ（上代）（2） 日本文学史Ⅳ（近世）（2） 日本文学史Ⅴ（近代）（2）	日本文学史Ⅱ（中古）（2）			文学史5科目 10 単位の中から 2科目4単位以上
			日本文学講読Ⅰ（上代）（2） 日本文学講読Ⅲ（中世）（2） 日本文学講読Ⅳ（近世）（2） 日本文学講読Ⅴ（近現代）（2）	日本文学講読Ⅱ（近世）（2） 日本文学講読Ⅲ（近現代）（2） 日本文学講読Ⅳ（近現代）（2） 日本文学講読Ⅵ（近現代）（2）	日本文学特殊講義（2）	講読・講義 11 科目 22 単位の中から 5科目 10 単位以上
		日本語学概論（2） 日本語表現法（2）	日本語史（2） 日本語学講義Ⅱ（現代語）（2）	日本語学講義Ⅲ（古典語）（2） 日本語学講義Ⅳ（現代語）（2）		必修2科目 4単位を含め 10 単位以上
	中国 文学系	中国文学概論（2） 欧米文学概論（2）	欧米文学講義（2）	比較文学（2）		必修2科目 4単位を含め 8 単位以上
	関 連 科 目	美学（4） 情報処理演習（2） 文芸創作入門（2）	日本文学と現代思想（2）	日本文学のための英語（2） 文芸創作特別演習（2）		10 単位以上
	演 習 ・ 卒 業 論 文	古典文学基礎演習（2） 近現代文学基礎演習（2） 日本語学基礎演習（2）				3科目 6単位必修
			近世文学専門演習 a（2） 近世文学専門演習 b（2）	近現代文学専門演習Ⅱ a（2） 近現代文学専門演習Ⅱ b（2）		2科目 4単位以上
					卒業論文（構想・準備）（2） 卒業論文（制作）（2）	2科目 4単位必修
合計単位	47 単位	45 単位	30 単位	6 単位	128 単位 (124 単位以上)	

芸術文化学部美術学科日本画コース履修モデル

区 分		1 年	2 年	3 年	4 年	単 位 修 得
教 養 教 育 目	地域・ キャリア系	キャリア形成入門（２）	尾道学入門（２）			24 単 位 以 上
	人 文 科 学	美術の歴史と鑑賞（２） 思考とデザイン（２） 文章表現法(学術的文章)(２)	日本の文学（２） 美術表現入門（２）			
	社 会 科 学	日本国憲法（２）	文化社会学（２）			
	自 然 科 学	数理・データサイエンス・ AI入門（２）	建築環境論（２） 物質の世界（２）			
	健康 スポーツ	健康スポーツ実習Ⅰ（１）	健康スポーツ実習Ⅱ（１）			必修1科目1単位 を含め2単位以上
	外 国 語	総合英語Ⅰ（２） 総合英語Ⅱ（２） ドイツ語Ⅰ（２）				必修2科目 4単位を含め 6単位以上
専 門 教 育 科 目	学部 共通科目		日本文化史（２） 芸術文化論（２）			4単位以上
	専 門 基 幹 科 目	美学（４） 日本美術史Ⅰ（２） 日本美術史Ⅱ（２） 西洋美術史Ⅰ（２） 美術解剖学（２） デザイン論（２）	塗装法演習（２） 図法及び製図（２） 版画制作演習（２）	写真(映像)演習（２） 壁画技法演習（２） 空間造形論（２） 木工演習（２）		必修1科目 4単位を含め 20単位以上
	基 礎 造 形 科 目	デッサン基礎実習（４） 構成実習（２） 彫刻（４） 総合基礎実習（４）				必修4科目 14単位以上
	専 門 実 習 科 目		日本画実習Ⅰ（12）	日本画実習Ⅱ（14） 古美術研究（演習）（４）	日本画実習Ⅲ（10） 卒業制作（10）	必修2科目 14単位を含め 50単位以上
	関 連 科 目	情報処理演習（２）	文化財保存学概論（２） 書道（２）	編集とデザイン（２）		2科目 4単位以上
合計単位		49 単位	39 単位	28 単位	20 単位	136 単位 (124 単位以上)

芸術文化学部美術学科油画コース履修モデル

区 分		1 年	2 年	3 年	4 年	単 位 修 得
教 養 教 育 目	地域・ キャリア系	キャリア形成入門（２）	尾道学入門（２）			24 単 位 以 上
	人 文 科 学	文章表現法(学術的文章)(２) 心理学入門（２）	美術の歴史と鑑賞（２） 美術表現入門（２） 思考とデザイン（２）			
	社 会 科 学	現代社会と人間行動（２）	メディア論（２）	文化社会学（２）		
	自 然 科 学	数理・データサイエンス・ AI入門（２）	建築環境論（２）			
	健 康 ス ポ ー ツ	健康スポーツ実習Ⅰ（１）	健康スポーツ実習Ⅱ（１）			必修1科目1単位 を含め2単位以上
	外 国 語	総合英語Ⅰ（２） 総合英語Ⅱ（２） ドイツ語Ⅰ（２）				必修2科目 4単位を含め 6単位以上
専 門 教 育 科 目	学部 共通科目		芸術文化論（２）	比較芸術論（２）		4単位以上
	専 門 基 幹 科 目	美学（４） 西洋美術史Ⅰ（２） 美術解剖学（２） 図法及び製図（２） 木工演習（２）	日本美術史Ⅰ（２） 日本美術史Ⅱ（２） 壁画技法演習（２） 空間造形論（２） デザイン論（２） 写真（映像）演習（２） 西洋美術史Ⅱ（２）	テンペラ画技法演習（２） 版画製作演習（２）		必修1科目 4単位を含め 20単位以上
	基 礎 造 形 科 目	デッサン基礎実習（４） 構成実習（２） 彫刻（４） 総合基礎実習（４）				必修4科目 14単位以上
	専 門 実 習 科 目		油画実習Ⅰ(12)	油画実習Ⅱ（14） 古美術研究（演習）（４）	油画実習Ⅲ（10） 卒業制作（10）	必修2科目 14単位を含め 50単位以上
	関 連 科 目	情報処理演習（２）	編集とデザイン（２）	文化財保存学概論（２）		2科目 4単位以上
合計単位		45 単位	43 単位	28 単位	20 単位	136 単位 (124 単位以上)

芸術文化学部美術学科デザインコース履修モデル

区 分		1 年	2 年	3 年	4 年	単 位 修 得
教 養 教 育 科 目	地域・ キャリア系	キャリア形成入門（２）	尾道学入門（２）	キャリア形成演習（２）		24 単 位 以 上
	人 文 科 学	美術の歴史と鑑賞（２） 美術表現入門（２）	心理学入門（２） 思考とデザイン（２）			
	社 会 科 学	日本国憲法（２）	社会学入門（２）			
	自 然 科 学	数理・データサイエンス・ AI入門（２）	地球と宇宙（２）	建築環境論（２）		
	健 康 ス ポ ー ツ	健康スポーツ実習Ⅰ（１）	健康スポーツ実習Ⅱ（１）			必修１科目１単位 を含め２単位以上
	外 国 語	総合英語Ⅰ（２） 総合英語Ⅱ（２） ドイツ語Ⅰ（２）				必修２科目 ４単位を含め ６単位以上
専 門 教 育 科 目	学部 共通科目		芸術文化論（２）	比較芸術論（２）		４単位以上
	専 門 基 幹 科 目	美学（４） 図法及び製図（２） デザイン論（２） デザイン史Ⅰ（２） デザイン史Ⅱ（２）	写真（映像）演習（２） 版画制作演習（２） 美術解剖学（２） 金工演習（２） 木工演習（２） 塗装法演習（２）	空間造形論（２）		必修１科目 ４単位を含め 20 単位以上
	基 礎 造 形 科 目	デッサン基礎実習（４） 構成実習（２） 彫刻（４） 総合基礎実習（４）				必修４科目 14 単位以上
	専 門 実 習 科 目		デザイン実習Ⅰ（12）	デザイン実習Ⅱ（14） 古美術研究（演習）（４）	デザイン実習Ⅲ（10） 卒業制作（10）	必修２科目 14 単位を含め 50 単位以上
	関 連 科 目	情報処理演習（２）	メディアグラフィックス概論（２） 編集とデザイン（２） 情報機能論（２） 書道（２）			２科目 ４単位以上
合計単位		45 単位	45 単位	26 単位	20 単位	136 単位 (124 単位以上)

V. 教育職員免許状の取得

教育職員免許状（教員免許状）の取得を希望する者は、本学を卒業するために必要な単位を修得し、かつ、教育職員免許法の定めるところにより所定の単位を修得する必要があります。新入生対象の教育職員免許状取得に関するガイダンスを1年次4月上旬に実施します。また学年ごとに学期はじめに教職ガイダンスを行います。ガイダンスの日程については、ポータルサイト「ono-po」等でお知らせしますので、教員免許状取得希望者は、必ず出席してください。

教員免許状の取得を目指す人は、履修登録の際に資格希望登録を行ってください。また、一度登録を行った後、途中で進路変更などにより取得を辞退する場合は、必ず事務局教務係に伝達してください。

1. 取得可能な教員免許状と必要な科目・単位数

本学で取得可能な教員免許状と、教育職員免許法で定める最低修得単位数は表1の通りです。いずれの教員免許状についても学士の学位を有することが基礎資格となります。

表1 取得可能な教員免許状と必要な科目・単位数

学 部	学 科	免許状の種類	教育職員免許法で定める最低修得単位数			
			(区分1) 66条の6に定める科目 (単位数)	(区分2) 教科及び 教科の指 導法に関 する科目	(区分3) 教育の基 礎的理解 に関する 科目等	(区分2) と(区分 3)の最低 修得単位 数を超え る科目
経済情報学部	経済情報学科	高等学校教諭一種免許状(情報)	日本国憲法に関する科目(2) 体育に関する科目(2)	24	23	12
		高等学校教諭一種免許状(商業)		24	23	12
芸術文化学部	日本文学科	中学校教諭一種免許状(国語)	外国語コミュニケーションに 関する科目(4) 数理、データ活用及び人工 知能に関する科目又は情報 機器の操作に関する科目(2)	28	27	4
		高等学校教諭一種免許状(国語)		24	23	12
	美術学科	中学校教諭一種免許状(美術)		28	27	4
		高等学校教諭一種免許状(美術)		24	23	12

※中学校教諭一種免許状と高等学校教諭一種免許状を同時に取得するためには、上表の最低修得単位数の内、多いほうの単位数を充足する必要があります。

2. 単位修得について

教員免許状を取得するためには以下に示した科目の単位の修得が必要です。(区分1)(区分2)の科目の単位は、一部を除き教養教育科目や専門教育科目の卒業要件単位に含まれます。(区分3)の科目の単位は卒業要件単位には含まれません。なお、本学で指定している必修・選択必修科目の履修により、各区分における必要単位数は、表1で示した免許法で定める最低修得単位数とは異なる場合があります。

表2 教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目(区分1)

免許法等で特に必要な ものとして定める科目	単位数	対応する 本学開設授業科目	備考
日本国憲法	2	日本国憲法	教養教育社会科学系選択科目として開講
体育	2	健康スポーツ実習Ⅰ・Ⅱ 健康スポーツ学等	教養教育健康スポーツ科目(必修1単位を含めて2単位以上)として開講
外国語コミュニケーション	4	総合英語Ⅰ・Ⅱ等	教養教育外国語科目(必修4単位を含む)として開講
数理、データ活用及び人工 知能に関する科目又は情報 機器の操作	2	情報科学入門	教養教育自然科学系選択科目として開講(経済情報学部 教職受講者は必修)
		情報処理演習	芸術文化学部専門教育関連科目として開講(芸術文化学 部教職受講者は必修)

(区分2) 教科及び教科の指導法に関する科目（専門教育科目）

免許状の種類ごとに、必要な授業科目の単位を修得してください（各頁の表参照）。

- ① 高等学校教諭一種免許状（情報）・・・P. 24
- ② 高等学校教諭一種免許状（商業）・・・P. 25
- ③ 中学校教諭一種免許状（国語）、高等学校教諭一種免許状（国語）・・・P. 26
- ④ 中学校教諭一種免許状（美術）、高等学校教諭一種免許状（美術）・・・P. 27

(区分3) 教育の基礎的理解に関する科目等

免許状の種類ごとに、必要な授業科目の単位を修得してください（各頁の表参照）。

- ⑤ 高等学校教諭一種免許状（情報、商業）・・・P. 28の⑤
- ⑥ 中学校教諭一種免許状（国語、美術）、高等学校教諭一種免許状（国語、美術）・・・P. 28の⑥

3. 介護等体験

中学校教諭一種免許状取得のためには、介護等体験への参加が必要です。特別支援学校で2日間、社会福祉施設で5日間の実習を行います。介護等体験を希望する人はその前年度10月に事務局教務係窓口で申し込んでください。また介護等体験に参加する年度の4月に履修登録を行った上で必要な説明会や事前学習会に必ず参加してください。詳細は前期はじめの教職ガイダンスで説明しますが、不明な点があれば教務係に問い合わせてください。

4. 学校体験活動

3年次に学校体験活動（授業や学級活動等の観察実習）の履修を希望する人は、3年次学年はじめの「学校体験活動に関する説明会」に必ず参加し、申込み書を提出してください。なお、2年次までに修得が必要な「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位をすべて修得していないと、3年次に学校体験活動を履修することはできません。

5. 教育実習

4年次に教育実習の履修を希望する人は、前年度（3年次）からの準備が必要です。必要な手続きについてはポータルサイト「ono-po」等でお知らせします。なお、3年次までに修得が必要な「教育の基礎的理解に関する科目等」の単位と、実習教科の指導法にかかわる必修科目の単位をすべて修得していないと、4年次に教育実習を履修することはできません。

6. 教職実践演習

4年次後期の教職実践演習は、教育実習の単位を修得見込みであることを条件に履修を認めます。また、教職実践演習では、履修カルテが重要な役割を果たします。各期はじめのガイダンスで指示された内容をポータルで入力し、「履修カルテ」を蓄積しておいてください。

7. 教育職員免許状授与の申請手続き

卒業予定者で免許状の授与を申請する者は大学で一括申請します。4年次後期はじめのガイダンスで提出書類や提出期日をお知らせしますので、期日を守って事務局教務係に提出してください。

8. その他

学外実習（介護等体験、学校体験活動、教育実習）では、実習先から健康診断結果の証明が求められることがあります。また感染症等の予防接種や抗体に関する証明が求められることがあります。大学が実施する定期健康診断は必ず受診してください。また予防接種等について不明な点があれば大学医務室に相談してください。

Ⅵ 教育職員免許状受領資格取得関係科目表

1 教科及び教科の指導法に関する科目

(区分2) 教科及び教科の指導法に関する科目（専門教育科目）

①高等学校教諭一種免許状（情報）の教科及び教科の指導法に関する科目

科目の区分		単位数	配当年次	担当教員
情報社会（職業に関する内容を含む。）・情報倫理	○情報と倫理	2	経済情報学部経済情報学科の教育課程表(P.11)を参照してください	
	○情報と職業	2		
コンピュータ・情報処理	○情報とコンピュータ	2		
	プログラミングⅠ	2		
	○プログラミングⅠ実習	1		
	プログラミングⅡ	2		
	プログラミングⅡ実習	1		
	情報基礎理論	2		
	データ構造とアルゴリズム	2		
	統計学Ⅰ	2		
	統計学Ⅱ	2		
	基礎数学Ⅰ	2		
	基礎数学Ⅱ	2		
情報システム	○データベース	2		
	情報システム設計論	2		
	情報システム設計実習	1		
	○ビジネスとデータサイエンス	2		
情報通信ネットワーク	機械学習と人工知能	2		
	○ネットワーク科学	2		
	情報セキュリティ	2		
マルチメディア表現・マルチメディア技術	システム監査とITマネジメント	2		
	○マルチメディア論	2		
	情報活用基礎Ⅰ	1		
	情報活用基礎Ⅱ	1		
	ゲームプログラミングⅠ	2		
	ビッグデータ活用	2		
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	C G と画像解析	2		
	○情報科教育法Ⅰ※	2	3 年前期	南郷 毅
	○情報科教育法Ⅱ※	2	3 年後期	南郷 毅

○印は免許状取得のための必修科目です。必修科目を含め 36 単位以上の単位を修得してください。

※印の科目の単位は卒業要件単位には含まれません。

(区分2) 教科及び教科の指導法に関する科目(専門教育科目)

②高等学校教諭一種免許状(商業)の教科及び教科の指導法に関する科目

科目の区分	授業科目名	単位数	配当年次	担当教員
商業の関係科目	○経済学入門Ⅰ(ミクロ)	2	経済情報学部経済情報学科の教育課程表(P.11)を参照してください	
	○経済学入門Ⅱ(マクロ)	2		
	経済史	2		
	○経営学入門	2		
	○簿記入門	2		
	商業簿記	2		
	工業簿記	2		
	マクロ経済学Ⅰ	2		
	マクロ経済学Ⅱ	2		
	ミクロ経済学Ⅰ	2		
	ミクロ経済学Ⅱ	2		
	経済政策Ⅰ	2		
	経済政策Ⅱ	2		
	金融論Ⅰ	2		
	金融論Ⅱ	2		
	経営学総論	2		
	○マーケティング論	2		
	消費者行動論	2		
	○会計学概論	2		
	経営分析論	2		
	経済経営情報実習	1		
	商法	2		
	日本経済論	2		
	国際経済学	2		
	アジア経済事情	2		
	管理会計論	2		
	原価計算論	2		
	企業論	2		
職業指導	○職業指導	2		
各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	○商業科教育法Ⅰ※	2	3年前期	餅川正雄
	○商業科教育法Ⅱ※	2	3年後期	餅川正雄
○印は免許状取得のための必修科目です。必修科目を含め36単位以上の単位を修得してください。 ※印の科目の単位は卒業要件単位には含まれません。				

(区分2) 教科及び教科の指導法に関する科目(専門教育科目)

③中学校教諭一種免許状(国語)および高等学校教諭一種免許状(国語)の教科及び教科の指導法に関する科目

中学校教諭一種免許状（国語）					高等学校教諭一種免許状（国語）				
科目の区分	授業科目名	単位数	配当年次	担当教員	科目の区分	授業科目名	単位数	配当年次	担当教員
国語学 （音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	○日本語学概論	2	芸術文化学部日本文学科の教育課程表（P.12）を参照してください		国語学 （音声言語及び文章表現に関するものを含む。）	○日本語学概論	2	芸術文化学部日本文学科の教育課程表（P.12）を参照してください	
	日本語史	2				日本語史	2		
	○日本語表現法	2				○日本語表現法	2		
	日本語学講義Ⅰ（古典語）	2				日本語学講義Ⅰ（古典語）	2		
	日本語学講義Ⅱ（現代語）	2				日本語学講義Ⅱ（現代語）	2		
	日本語学講義Ⅲ（古典語）	2				日本語学講義Ⅲ（古典語）	2		
国文学 （国文学史を含む。）	日本語学講義Ⅳ（現代語）	2			国文学 （国文学史を含む。）	日本語学講義Ⅳ（現代語）	2		
	○日本文学概論	2				○日本文学概論	2		
	日本文学史Ⅰ（上代）	2				日本文学史Ⅰ（上代）	2		
	日本文学史Ⅱ（中古）	2				日本文学史Ⅱ（中古）	2		
	日本文学史Ⅲ（中世）	2				日本文学史Ⅲ（中世）	2		
	日本文学史Ⅳ（近世）	2				日本文学史Ⅳ（近世）	2		
	日本文学史Ⅴ（近代）	2				日本文学史Ⅴ（近代）	2		
	日本文学講読Ⅰ（上代）	2				日本文学講読Ⅰ（上代）	2		
	日本文学講読Ⅱ（中古）	2				日本文学講読Ⅱ（中古）	2		
	日本文学講読Ⅲ（中世）	2				日本文学講読Ⅲ（中世）	2		
	日本文学講読Ⅳ（近世）	2				日本文学講読Ⅳ（近世）	2		
	日本文学講読Ⅴ（近現代）	2				日本文学講読Ⅴ（近現代）	2		
	日本文学講読Ⅵ（近現代）	2				日本文学講読Ⅵ（近現代）	2		
	日本文学講義Ⅰ（上代～中世）	2				日本文学講義Ⅰ（上代～中世）	2		
	日本文学講義Ⅱ（近世）	2				日本文学講義Ⅱ（近世）	2		
	日本文学講義Ⅲ（近現代）	2				日本文学講義Ⅲ（近現代）	2		
	日本文学講義Ⅳ（近現代）	2				日本文学講義Ⅳ（近現代）	2		
日本文学特殊講義	2	日本文学特殊講義			2				
漢文学	○中国文学概論	2	漢文学	○中国文学概論	2				
	中国文学講読	2		中国文学講読	2				
	中国文学講義	2		中国文学講義	2				
書道（書写を中心とする。）	○書道Ⅰ	2	各教科の指導法 （情報通信技術の活用を含む。）	各教科の指導法 （情報通信技術の活用を含む。）					
	書道Ⅱ	2							
○国語科教育法Ⅰ※	2	3年前期			山田和大	○国語科教育法Ⅰ※	2	3年前期	山田和大
○国語科教育法Ⅱ※	2	3年後期			山田和大	○国語科教育法Ⅱ※	2	3年後期	山田和大
○国語教育学専門演習a	2	2年前期			山田和大	国語教育学専門演習a	2	2年前期	山田和大
○国語教育学専門演習b	2	2年後期	山田和大	国語教育学専門演習b	2	2年後期	山田和大		
○印は免許状取得のための必修科目です。 必修科目を含め32単位以上の単位を修得してください。 ※印の科目の単位は卒業要件単位には含まれません。					○印は免許状取得のための必修科目です。 必修科目を含め36単位以上の単位を修得してください。 ※印の科目の単位は卒業要件単位には含まれません。				

(区分2) 教科及び教科の指導法に関する科目(専門教育科目)

④中学校教諭一種免許状(美術)および高等学校教諭一種免許状(美術)の教科及び教科の指導法に関する科目

中学校教諭一種免許状（美術）					高等学校教諭一種免許状（美術）						
科目の区分	授業科目名	単位数	配当年次	担当教員	科目の区分	授業科目名	単位数	配当年次	担当教員		
絵画 (映像メディア 表現を含む。)	日本画実習Ⅰ	12	芸術文化学部美術学科 の教育課程表（P.13） を参照してください		絵画 (映像メディア 表現を含む。)	日本画実習Ⅰ	12	芸術文化学部美術学科 の教育課程表（P.13） を参照してください			
	日本画実習Ⅱ	14				日本画実習Ⅱ	14				
	日本画実習Ⅲ	10				日本画実習Ⅲ	10				
	油画実習Ⅰ	12				油画実習Ⅰ	12				
	油画実習Ⅱ	14				油画実習Ⅱ	14				
	油画実習Ⅲ	10				油画実習Ⅲ	10				
	○デッサン基礎実習	4				○デッサン基礎実習	4				
	版画制作演習	2				版画制作演習	2				
	○写真（映像）演習	2				○写真（映像）演習	2				
彫刻	○彫刻	4			彫刻	○彫刻	4				
デザイン (映像メディア 表現を含む。)	デザイン実習Ⅰ	12			デザイン (映像メディア 表現を含む。)	デザイン実習Ⅰ	12				
	デザイン実習Ⅱ	14				デザイン実習Ⅱ	14				
	デザイン実習Ⅲ	10				デザイン実習Ⅲ	10				
	○構成実習	2				○構成実習	2				
	デザイン史Ⅰ	2				デザイン史Ⅰ	2				
	デザイン史Ⅱ	2				デザイン史Ⅱ	2				
	デザイン論	2				デザイン論	2				
	空間造形論	2				空間造形論	2				
工芸	○木工演習	2									
	金工演習	2									
	塗装法演習	2									
美術理論・美術史 (鑑賞並びに日 本の伝統美術及 びアジアの美術 を含む。)	○美学	4			美術理論・美術史 (鑑賞並びに日 本の伝統美術及 びアジアの美術 を含む。)	○美学	4				
	○日本美術史Ⅰ	2				○日本美術史Ⅰ	2				
	○日本美術史Ⅱ	2				○日本美術史Ⅱ	2				
	○東洋美術史Ⅰ	2				○東洋美術史Ⅰ	2				
	○東洋美術史Ⅱ	2				○東洋美術史Ⅱ	2				
	○西洋美術史Ⅰ	2				○西洋美術史Ⅰ	2				
各教科の指導法 (情報通信技術 の活用を含む。)	○美術科教育法Ⅰ※	2			各教科の指導法 (情報通信技術 の活用を含む。)	○美術科教育法Ⅰ※	2			3年前期	牧原竜浩
	○美術科教育法Ⅱ※	2				3年後期	牧原竜浩				
	○美術科教育法演習Ⅰ※	2				3年前期	牧原竜浩				
	○美術科教育法演習Ⅱ※	2				3年後期	牧原竜浩				
○印は免許状取得のための必修科目です。 必修科目を含め 38 単位以上の単位を修得してください。 ※印の科目の単位は卒業要件単位には含まれません。					○印は免許状取得のための必修科目です。 必修科目を含め 36 単位以上の単位を修得してください。 ※印の科目の単位は卒業要件単位には含まれません。						

2 教育の基礎的理解に関する科目等

(区分3) 教育の基礎的理解に関する科目等

⑤高等学校教諭一種免許状（情報、商業）の教育の基礎的理解に関する科目等

科目	科目の区分	授業科目	配当年次	担当教員	単位数	
					必修	選択
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	1年前期	信木 伸一	2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教師論	1年後期	山田 和大	2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育社会学	2年後期	福本 昌之	2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	発達と学習	2年前期	中村 孝	2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別な支援を必要とする生徒への指導	1年前期	山口 明乙香	2	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	3年前期	濱保 和治	2	
	道徳、総合的な学習の時間、等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	2年前期	島田 喜行		2
教育実践に関する科目	総合的な探究の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	3年前期	島田 喜行	2	
	特別活動の指導法	教育の方法と技術・教育における ICT 活用	1年後期	山田 和大	2	
	教育の方法及び技術	生徒指導の理論及び方法	3年後期	石山 貴章	2	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	生徒・進路指導論	3年後期	石山 貴章	2	
	生徒指導の理論及び方法	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	2年後期	中村 孝	2	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	教育実習事前・事後指導（経済情報）	4年	木村 文則・津村 怜花 宮川 貴史	1	
	教育実習	教育実習（経済情報）	4年	木村 文則・津村 怜花 宮川 貴史	2	
教育実践に関する科目	学校体験活動	学校体験活動（経済情報）	3年	木村 文則・津村 怜花 宮川 貴史		1
	教職実践演習	教職実践演習（中・高）	4年	信木 伸一・島田 喜行 山田 和大	2	

道徳の理論及び指導法、学校体験活動（経済情報）以外はすべて必修です。必修科目を含め 25 単位以上を修得してください。

⑥中学校教諭一種免許状（国語、美術）および高等学校教諭一種免許状（国語、美術）の教育の基礎的理解に関する科目等

科目	科目の区分	授業科目	配当年次	担当教員	中学校教諭一種免許状 単位数		高等学校教諭一種免許状 単位数	
					必修	選択	必修	選択
					必修	選択	必修	選択
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	1年前期	信木 伸一	2		2	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教師論	1年後期	山田 和大	2		2	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育社会学	2年後期	福本 昌之	2		2	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	発達と学習	2年前期	中村 孝	2		2	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別な支援を必要とする生徒への指導	1年前期	山口 明乙香	2		2	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	3年前期	濱保 和治	2		2	
	道徳、総合的な学習の時間、等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	2年前期	島田 喜行	2			2
教育実践に関する科目	総合的な学習（探究）の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	3年前期	島田 喜行	2		2	
	特別活動の指導法	教育の方法と技術・教育における ICT 活用	1年後期	山田 和大	2		2	
	教育の方法及び技術	生徒指導の理論及び方法	3年後期	石山 貴章	2		2	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	生徒・進路指導論	3年後期	石山 貴章	2		2	
	生徒指導の理論及び方法	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	2年後期	中村 孝	2		2	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	教育実習事前・事後指導（芸術文化）	4年	信木 伸一 島田 喜行 山田 和大	1		1	
	教育実習	教育実習Ⅰ（芸術文化）※	4年	信木 伸一 島田 喜行 山田 和大	4			
教育実践に関する科目	学校体験活動	学校体験活動（芸術文化）	3年	信木 伸一 島田 喜行 山田 和大		1	2	1
	教職実践演習	教職実践演習（中・高）	4年	信木 伸一 島田 喜行 山田 和大	2		2	

中学校教諭一種免許状については、学校体験活動（芸術文化）以外はすべて必修です。必修科目を含め 29 単位以上を修得してください。

高等学校教諭一種免許状については、道徳の理論及び指導法、学校体験活動（芸術文化）以外はすべて必修です。必修科目を含め25単位以上を修得してください。

※教育実習Ⅰ（芸術文化）、教育実習Ⅱ（芸術文化）の履修については以下の通りです。

中学校教諭一種免許状のみを取得希望の場合・・・教育実習Ⅰ必修、教育実習Ⅱは履修できない

中学校・高等学校両方の免許状を取得希望の場合・・・教育実習Ⅰ必修、教育実習Ⅱの履修は不要

高等学校教諭一種免許状のみを取得希望の場合・・・教育実習Ⅱ必修、教育実習Ⅰは履修できない

VII 学芸員資格の取得

芸術文化学部 日本文学科・美術学科

学芸員資格を取得するには、本学を卒業するために必要な単位に加え、博物館法の定めるところにより所定の単位を修得する必要があります。詳しくは4月初旬に開催する新入生対象の「学芸員資格取得に関するガイダンス」において説明します。資格取得を希望する学生は必ず出席してください。

〈関係科目表〉

博物館法に定める 必修選択の別及び科目の名称		本学が開講する授業科目	単位数	配当年次	担当教員	備考
法定必修科目	生涯学習概論	生涯学習概論	2	2年後期	小西 美幸	
	博物館概論	博物館学入門	2	1年前期	西嶋 亜美	
	博物館経営論	博物館経営論	2	3年前期	市川 彰	
	博物館資料論	博物館資料論	2	1年前期	市川 彰	
	博物館資料保存論	博物館資料保存論	2	1年後期	市川 彰	
	博物館展示論	博物館展示論	2	2年前期	市川 彰	
	博物館教育論	博物館教育論	2	2年後期	国近有佑子	
	博物館情報・メディア論	博物館情報・メディア論	2	2年前期	渡辺 千尋	
	博物館実習	博物館実習Ⅰ	1	3年後期	市川・西嶋	
		博物館実習Ⅱ	2	4年		
大学設置の 関連科目	その他関連科目	美学	4	1年	西嶋 亜美	必修
		日本美術史Ⅰ	2	1年前期	市川 彰	内4単位以上選択必修 ※下記〈注意事項〉参照 のこと
		日本美術史Ⅱ	2	1年後期	市川 彰	
		東洋美術史Ⅰ	2	1年集中	高橋早紀子	
		東洋美術史Ⅱ	2	1年集中	苫名 悠	
		西洋美術史Ⅰ	2	1年前期	西嶋 亜美	
		西洋美術史Ⅱ	2	1年後期	西嶋 亜美	内4単位以上選択必修
		芸術文化論	2	2年集中	深谷 訓子	
		日本文化史	2	2年後期	米倉 広晃	
		比較芸術論	2	3年集中	足立恵理子	
		瀬戸内文化論	2	3・4年前期	藤井 佐美	

〈注意事項〉

- ・学芸員資格取得関係科目のうち、「法定必修科目」は卒業認定単位には数えられませんので注意してください。
- ・「博物館実習Ⅰ」の単位を修得してはじめて、「博物館実習Ⅱ」の履修が可能になります。履修登録漏れ等がないよう、十分に注意してください。
- ・「日本美術史」、「東洋美術史」、「西洋美術史」は「Ⅰ」と「Ⅱ」をセットで受講してください。例えば、「日本美術史Ⅰ」と「東洋美術史Ⅱ」等の組み合わせは認められません。
- ・履修登録の際には、資格取得の希望に加えて、各科目を個別に登録する必要があります。
- ・時間割の都合等で、配当年次に単位修得を行わないと、次年度以降の履修が難しくなります。計画的な履修を心がけてください。

VIII 履修登録

履修科目については、教育課程表、授業計画（シラバス）、授業時間割表等を確認し、よく考えて適切に決定してください。

履修の流れ

履修登録・受講開始 → 履修登録確認・変更 → 試験等 → 評価 → 成績照会

- ・受講科目を決定したら、指定した期間内にポータルサイト「ono-po」で履修登録を行ってください。
必修科目・選択科目を問わず履修するすべての科目を登録してください。
前期の履修登録のときに後期に履修する科目や集中講義科目も登録してください。
履修登録していない科目の単位は認定しません。登録漏れに注意しましょう。
ただし、海外語学実践Ⅰ、海外語学実践Ⅱ、総合英語Ⅰ、総合英語Ⅱについては、受講者決定後に、担当教職員が履修登録をします。
- ・原則として、1年間に履修できる単位の上限は、47単位です。
(ただし美術学科では、カリキュラムの特殊性から講義などの科目はできるだけ低学年で履修することが望ましく、また教育職員免許や学芸員の資格を取得する場合、47単位を超える履修を許可する場合があります。)
- ・一部の授業科目については、抽選によって履修登録できる者を決める場合があります。この抽選は学年による優遇措置（例えば、4年生優先）はありません。
- ・履修登録の確認・変更
教務係で履修登録を整理した後、ポータルサイト「ono-po」で「学生時間割表」を表示しますので内容を確認してください。

必ず点検し、訂正があれば、決められた期日までに各自訂正を行ってください。期限経過後の訂正は一切認めないので十分注意すること。

- ・二重履修の禁止
同じ時間に開講されている科目を、2つ以上履修することはできません。
また、すでに単位を認定された科目を再び履修することはできません。

IX 単位認定

1 単位認定の要件

次の要件をすべて満たした場合のみ、単位が認定されます。

- (1) 履修登録をしていること
- (2) 授業時間の60%以上出席していること
- (3) 認定試験等に合格すること

2 授業への出席

原則として、30分以上の遅刻・早退は欠席とみなします。3回の30分以内の遅刻・早退で欠席1回と計算します。やむを得ず遅刻・早退をする場合は、担当教員に申し出て了解を得てください。
公欠の場合は欠席の取り扱いをしません。届け出を提出してください。(P. 42参照)

3 試験

- 認定試験 — 学期末に行います。平常の授業時間割に従って実施しますが、特別時間割を組む科目もあります。試験前は掲示をよく見て、注意事項を守って受験してください。
- 追試験 — やむを得ない理由によって認定試験を受けることができなかった場合には、追試験

を受けることができます。

★やむを得ない理由とは、以下の事情を指します。

就職試験・大学代表としての行事参加・教育実習・傷病・交通事情・忌引・その他
これらに準ずる特別の事情

4 試験の際の遅刻および退出

原則として試験開始後30分を超える遅刻は受験を認めません。また、途中退場も原則として試験開始後30分を過ぎてからのものとします。ただし、試験方法や内容によってはこれに準じない場合もあります（試験監督の指示に従ってください）。

5 追試験の受験手続

指定された期日（学年暦参照）までに、「追試験願」（教務係にあります）を提出し、許可を受けてください。

その際、「やむを得ない理由」を証明する書類を添付しなければなりません。

6 不正行為

＜試験における不正行為＞

試験では、試験監督の指示に従い、不正行為のないようにしてください。

試験において不正行為を行った場合には、その期に履修した科目のうち、すべての講義科目を単位認定の対象とせず「無効」とします。ここでいう講義科目とは、教育課程表「授業の方法」に言う講義科目のことであり、全科目のうち、実習科目と演習科目を除いたものを指します。

実習科目や演習科目において試験が行われ、その試験において不正行為が行われた場合、不正行為が行われた科目と、その期に履修した科目のうちすべての講義科目を、単位認定の対象とせず「無効」とします。

不正行為が尾道市立大学学則第55条第1項の懲戒の事由に該当すると判断される場合には、同条に基づき停学などの懲戒処分となります。

なお、不正行為とは以下のものを指します。

- ①試験前に試験問題の内容や解答を不正に知ること
- ②参照を許可されていない物を受験の机に出す、またはそれを参照できるような状態の下で受験をすること
- ③所持品、身体、机など身の回りのものに文字など試験に関わる情報を記載し、受験中に参照する、またはそれを参照できるような状態の下で受験すること
- ④他人の答案を見る、または他人に答案を見せること
- ⑤試験中に試験監督の指示に従わないこと
- ⑥その他、公正な試験の実施を阻害すると認められる行為をすること

＜出席登録における不正行為＞

授業では、出席を確認します。出席登録の方法は教員の指示に従い、不正行為のないようにしてください。

不正行為があったと認定された場合は、その科目の出席を全て「無効」とします。また、処分の対象者は不正行為に関わった者全員とします。すなわち、不正を依頼した者だけでなく、協力した者も含まれます。

なお、不正行為とは以下のものを指します。

- ①本人以外が出席登録を行うこと。

②授業の始めに登録だけを行い、授業を受けることなく退室する行為を頻繁に繰り返すこと。ただし、体調不良など、やむを得ず早退する場合は、担当教員に申し出て了解を得るか、医務室や教務係に届けてください。

③その他、教員の指示とは異なる不公正な方法による登録であると認められる行為を行うこと。

＜提出用レポートおよび論文作成における不正行為＞

成績評価の手段として、提出されたレポートを利用する授業もあります。提出用レポートおよび論文の作成方法は教員の指示に従い、不正行為のないようにしてください。レポートおよび論文作成において不正行為があったと認定された場合は、その科目の単位を「不可」とします。

なお、不正行為とは以下のものを指します。

①他者の論文や書籍、ウェブ上の文章などから適切な引用表示なく流用するといった剽窃を行うこと。

②生成AIを含む本人以外によって作成された文章・画像・プログラムソースコード・計算結果などの全体または部分を、自分が作成したものとして使用すること。

③その他、教員の指示に従わず、不公正な方法でレポートおよび論文を作成したと認められる行為をすること。

7 成績評価・成績通知書

(1) 成績評価

試験、実技、実習、レポートの成績および授業への取り組み状況等により評価します。

(2) 成績通知

成績の表示は10点満点の整数と評語で行います。

6点以上を合格とし、5点以下を不合格とします。

10点満点の整数を評語に替えるときは、優・良・可・不可とします。成績証明書など、学外への通知は評語で行います。

その関係は、次のようになります。



(3) G P Aについて

経済情報学部・芸術文化学部日本文学科では、上記(2)の成績評価に併せて、G P A (Grade Point Average) による成績評価を行います。これは皆さんの勉学上の動機付けをはっきりさせ、学習の質の向上をはかるためです。成績通知書には表示しますが、証明書には記載されません。上記10段階評価とG P Aの成績点との対応は次の通りです。

10段階評価	10、9	8	7	6	5以下及び履修したが受験しない場合
G P A成績点	4	3	2	1	0

[GPAの簡単な計算例]

1)

区 分	授業科目 A	授業科目 B	授業科目 C	授業科目 D	合 計
単 位 数	1	2	2	2	7
10段階評価	10	9	5	7	
GPA成績点	4	4	0	2	

$$\begin{aligned}
 \text{GPA} &= (\text{単位数} \times \text{GPA成績点}) \text{の合計} \div \text{単位数合計} \\
 &= (1 \times 4 + 2 \times 4 + 2 \times 0 + 2 \times 2) \div 7 \\
 &= 16 \div 7 = 2.29 \\
 &(\text{授業科目 C は不合格})
 \end{aligned}$$

2)

区 分	授業科目 A	授業科目 B	授業科目 C	授業科目 D	合 計
単 位 数	1	2	2	2	7
10段階評価	10	9	8	受験なし	
GPA成績点	4	4	3	0	

$$\begin{aligned}
 \text{GPA} &= (\text{単位数} \times \text{GPA成績点}) \text{の合計} \div (\text{単位数合計}) \\
 &= (1 \times 4 + 2 \times 4 + 2 \times 3 + 2 \times 0) \div 7 \\
 &= 18 \div 7 = 2.57 \\
 &(\text{授業科目 D を履修したが、受験しなかった。})
 \end{aligned}$$

注意点

- ① GPAの最高点は4となります。2以上になるように、努力しましょう。
- ② 履修登録完了後に取り止めたい授業科目がある場合は、登録訂正期間に、必ず取り消してください。登録したままで出席不足の評価が付くとGPAが下がります。
- ③ また安易にたくさんの科目を履修して、十分な学習ができないまま、低い評価を多く取得すると、GPAが下がります。
- ④ GPAは、チューターの先生が皆さんの学習指導・生活指導をするときに、その参考資料の一つとして利用します。

(4) 成績の通知

認定試験の成績は、指定された期日からポータルサイト「ono-po」の成績照会で確認できます。

(5) 成績疑義申し立て制度

成績の内容に疑問点がある場合は、指定された期日（各期毎に掲示等で連絡）までに、教務係に届けてください。

(6) 成績通知書の送付

成績通知書を年1回、保証人宛に送付します。

8 再履修

開講年次に受講した科目が不合格になり、やむを得ず次年度以降に再び同じ科目を履修することを再履修といいます。再履修を希望する人は、通常の履修登録と同様に、改めてポータルサイト「ono-po」から登録を行ってください。原則として同じ年度内での再履修はできません。

9 「TOEIC I」・「TOEIC II」の単位認定

「TOEIC I」・「TOEIC II」については、以下の要件を満たした場合にも単位を認定します。

- (1) L & R公開テスト・学内実施L & R IPテスト（IPテストは、在学中に学内で実施されたものに限る。以下同様）による点数が500点以上600点未満の学生は、本学所定の単位認定申請書とTOEIC運営委員会が発行するOfficial Score Certificate（公式認定書）の原本か、Institutional Program(IP) Score Report（スコアレポート）の原本を下記の期日までに教務係に提出することにより、「TOEIC I」あるいは「TOEIC II」のうちいずれか1科目（2単位）の単位を認定します。評価は8点とします。
- (2) 公開テスト・学内実施IPテストによる点数が600点以上の学生は、同様の手続きにより、「TOEIC I」と「TOEIC II」の2科目（4単位）の単位を認定します。ただし、その学生がすでに「TOEIC I」あるいは「TOEIC II」の単位を修得している場合は、「TOEIC I」・「TOEIC II」のうち単位未修得の1科目（2単位）のみの単位を認定します。いずれの場合も評価は9点とします。
- (3) 本学入学以前に、公開テストの点数が既定の点数に達している学生の場合も、同様の手続きにより、上記(1)・(2)の規程に準じ、「TOEIC I」・「TOEIC II」の単位を申請した学期に認定します。評点も同様の取扱いとします。

前期：7月31日までに提出

後期：1月31日までに提出

10 「海外語学実践Ⅰ」・「海外語学実践Ⅱ」の単位認定

- (1) 本学の海外語学研修プログラムに参加する場合

国際交流センターで案内する海外語学研修プログラムに参加し、所定の成績を修めた学生は、本学の教養教育科目・外国語科目として「海外語学実践Ⅰ」、「海外語学実践Ⅱ」の各2単位が認定されます（評点10～6）。

研修内容は、事前学習（8～14時間：ガイダンス、事前指導）、現地研修（2～4週間：授業時間30時間以上）、事後学習（3～4時間：報告書作成、報告会発表）です。何れか1つでも不参加の場合、単位は認定されません。

海外語学研修プログラムの参加対象は、夏季・春季ともに学部生及び大学院生です。ただし、単位認定に関しては、春季休業中の派遣時に卒業見込みの学部4年生、及び大学院生は対象外とします。

詳細は参加募集の説明会で説明します。説明会の案内はポータルサイトに掲示します。

なお、複数の海外研修に参加は可能で、単位認定は計4単位までです。

また、「海外語学実践Ⅱ」の履修条件は次のとおりです。

- ①「海外語学実践Ⅰ」の単位を修得していること
- ②「海外語学実践Ⅰ」と同じ履修プログラムではないこと

- (2) 個人で短期留学する場合

春季休業または夏季休業中に海外に留学し（大学もしくはこれに準ずる教育機関、授業時間30時間以上、海外滞在3週間程度）、所定の成績を修めた学生は、「海外語学実践Ⅰ」、「海外語学実践Ⅱ」を履修したこととして単位を認定します。単位認定を求める学生は、以下の手続きが必要です。

- ①休業前に「短期海外語学研修計画書」（所定の用紙が国際交流センターにあります）を国際交流センターに提出する。
- ②帰国後は、「短期海外語学研修報告書」とともに、搭乗券（Boarding Pass）の写し、研修先の成績表または修了証明書およびシラバスなど研修内容が分かるものを国際交流センターに提出する。

この手続きが行われた場合、研修先の妥当性と学生の修めた成績表などをもとに国際交流センターが審査します。その結果合格と認めた際には、本学の教養教育科目・外国語科目として「海外語学実践Ⅰ」、「海外語学実践Ⅱ」のいずれか2単位を認定します（評点10～6）。

現在、学習対象外国語は「英語」と「中国語」に限られています。

11 他大学で履修した授業科目の単位認定

提携校などであれば、海外を含む他大学で修得した単位も認定します。詳細については、教務係に問い合わせてください。

X 科目ナンバリング

科目ナンバリングとは、その授業科目が、カリキュラム全体のなかで、どの学修段階にあるのか、どのような順序で系統立てて学ぶことを求めているかといった、教育課程の体系性をわかりやすく示したものです。

1. ナンバリングコードの意義

学生が、自分の目標にそって履修計画をたてるときに、授業科目の分類や、カリキュラムが設定意図としての学修段階や順序を理解したうえで選択することができます。ナンバリングコードの付与規則は全学で統一されているので、開放科目など他学部や他学科の科目を履修する場合も、カリキュラム上の位置づけを主体的に把握した学修計画をたてることができます。

2. ナンバリングコードの付与ルール

コードは「①学科・課程・研究科」「②コース・分野」「③整理番号（主な対象学年＋通し番号）」「④授業形態」から構成され、授業科目ごとにコードが付与されます

例 E - EC - 101 L
① ② ③ ④

3. 各コードの意味

1) 学科・課程・研究科

教養教育科目 (G) 経済情報学科 (E) 日本文学科 (J) 美術学科 (A)
教職に関する科目・学芸員資格科目 (C)
経済情報研究科 (ME)
日本文学研究科 (MJ)
美術研究科 (MA)

2) コース・分野 (英字2～3字)

教養教育科目：地域・キャリア系科目 (LC) 人文科学科目 (HU)
社会科学科目 (SS) 自然科学科目 (NS) 健康スポーツ科目 (HS) 外国語科目 (FL)
経済情報学科：経済 (EC) 経営 (MN) 情報 (IN) 共通 (CS)
日本文学科：学部共通科目 (IC) 日本文学系 (JLT) 日本語学系 (JLG) 中国欧米文学 (CW)
関連科目 (RE) 演習・卒論 (SG)
美術学科：学部共通科目 (IC) 専門基幹科目 (SF) 基礎造形科目 (FS)
専門実習科目 (日本画 (SJ) 油絵 (SO) デザイン (SD)) 関連科目 (RC)
資格課程科目：教職に関する科目 (TL) 学芸員資格科目 (CL)
経済情報研究科：経済 (EC) 経営 (MN) 情報 (IN) 共通 (CS)
日本文学研究科：総合科目 (GS) 基幹科目 (FS) 専門科目 (SS) 関連科目 (RE)
研究指導 (RG)
美術研究科：基礎理論科目 (BT) 専門演習科目 (SS)
専門実習科目 (日本画 (SJ) 油画 (SO) デザイン (SD))

3) 整理番号

初級・入門・1年生 (101～) 中級・応用・2年生 (201～) 上級・専門的・3年生 (301～)
最終段階・4年生 (401～) 修士レベル (501～) 修士2年生 (601～)

4) 授業形態

講義 (L) 演習 (S) 実習 (P) 卒業論文・卒業制作 (T) その他 (Z)

XI アクティブ・ラーニング科目

本学では以下に示す基準1・基準2を満たす科目を「アクティブ・ラーニング科目」に位置付けます。
アクティブ・ラーニング科目の一覧表はポータルサイトに掲載します。

【基準1】

知識学習や解答の決まった課題に取り組むのではなく、正しい答えが一つではない問題や課題に受講生が能動的に取り組む学びを行っている。

【基準2】

課題の発見と解決に向けて受講生が主体的・協働的に学ぶために、以下に示したアクティブ・ラーニングの要素を授業内に取り入れている。

アクティブ・ラーニングの要素 (例)

- ・ディベート
- ・グループディスカッション
- ・グループワーク
- ・フィールドワーク
- ・事前学習 (予習) としてのリサーチ
- ・主体的に課題解決に取り組む学習

XII メディア授業について

本学の授業科目には対面で行う授業とは異なり、多様なメディアを高度に利用して行うメディア授業があります。メディア授業とは教育における以下のようなニーズに応えることで、多様なカリキュラム構成をスムーズに行い効果的な学修の場を提供する授業のことです。

- ・多様な年齢層の多様なニーズを持った学生への教育体制の整備
- ・時間と場所の制約を受けにくい教育環境へのニーズ
- ・単位互換や他大学との連携における制約の解消

メディア授業は半期15回の授業のうち8回以上を、オンラインなどのメディアを利用して展開する授業となります。また卒業要件単位のうち、60単位を超えての単位修得はできません。

授業は同時かつ双方向で、基本的に教室以外の場所で受講することになります。また教員と学生が互いにやりとりを行うディスカッションや質問の機会があります。

履修に関しては担当教員からの注意事項をよく確認してから履修登録をするようにしてください。

XIII カリキュラムマップ

カリキュラムマップとは、各学科で学ぶ4年間に何をどのように系統だてて学ぶか、また自分が今どこにいるのかを自覚しながら、自律的に自分に適した学習計画を立てていくためのものです。学科ごとのカリキュラムポリシーに沿ってわかりやすく表にまとめてあります。

カリキュラムマップの一覧表はポータルサイトに掲載します。

〈カリキュラムマップの見方〉

表の横軸には教育課程の中の教養教育・各学科ごとに身につけて欲しい項目が列記されています。

表の縦軸にはその課程の中の科目ごとに設定されている授業目標が記されています。

縦軸と横軸との関係から、それぞれの授業科目の中で身につけることが求められている項目を確認できるようになっています。

XV カリキュラムツリー

カリキュラムツリーとは、各学科で学ぶ4年間にどの授業科目をどのタイミングで履修すれば良いか、またそれぞれの授業科目が次に学ぶ授業科目とどのような関係性を持っているかについて、体系的にわかりやすく表にまとめたものです。

カリキュラムツリーの一覧表はポータルサイトに掲載します。

〈カリキュラムツリーの見方〉

学科ごとにカリキュラムツリー表の見方が異なります。

経済情報学科と日本文学科の表は、横軸の学習段階の推移と縦軸の年次・学期との関係から、それぞれの段階で履修できる授業科目を示しています。

美術の表では横軸の実習・演習・講義系科目などの科目構成と縦軸の年次との関係から、それぞれの授業科目がどのように関連しているかを示しています。

XV 学内TOEIC Bridge IPテストの受験について

本学では、次の目的で学内TOEIC Bridge IPテストの1年生全員受験を実施しています。

- ①豊かな教養と広い視野を持ち、国際社会に貢献しうる人材になること
- ②地域社会との連携を図りつつ、世界的視野をもって教育と研究に取り組み、社会からの信頼と期待に応えられる人材になること
- ③多様な価値観を柔軟に受け止め協働していくベースとなる語学力を養うこと

TOEIC Bridge IPテストを通して自身の成長や学修状況を把握し、より充実した学生生活を送れるよう活用してください。

スコアは、「総合英語Ⅰ」・「総合英語Ⅱ」のクラス分けや、教員が皆さんの学修状況を把握するための基礎資料に活用します。

実施時期・回数

入学前の3月、後期単位認定試験期間の2回

XVI 早期履修制度について（経済情報学部経済情報学科）

経済情報学部経済情報学科では、本学大学院に進学を考えている学生のために大学院科目を早期履修する制度があります。

修士号の学位を取得するには、学部4年間に加え、修士課程2年間、合計6年間の学修が必要になります。当該制度を利用すると、学部4年間に加え、修士課程1年間の合計5年間で修士号の学位を取得することが可能になります。

〈早期履修制度を受ける条件〉

- 履修する前年度前期終了時点（3年次前期）での修得単位が100単位以上かつGPAが2.8以上であること
- 本学大学院への進学を希望していること
- 履修する前年度（3年次後期）の2月に早期履修制度の選考を受けること

詳しくは、学部3年次に説明会を開催します。

また、海外協定校からの編入学生の場合は、条件が異なりますので、研究科運営委員にお問い合わせください。

XVII 英語重点トラック

本学では、英語の学修意欲を維持向上させることによって、高度な総合的英語力の育成を目指す英語重点トラックを設置しています。本トラック修了者には、修了証が授与されます。

(要件)

○卒業までに、以下の科目群の中から16単位以上を修めること

○TOEICを3年次または4年次に受験すること

<科目群>

配当年次	授業科目
1年	*「総合英語Ⅰ」、*「総合英語Ⅱ」
2年	*「Topics in Language, Culture, and Society」 「応用英語Ⅰ」、「応用英語Ⅱ」 「TOEICⅠ」、「TOEICⅡ」 「ビジネス英語」(経済情報学科生のみ)
3年	「上級英語Ⅰ」、「上級英語Ⅱ」、「日本文学のための英語」(日本文学科生のみ)
1～4年	「海外語学実践Ⅰ」(英語圏)、「海外語学実践Ⅱ」(英語圏)

*本トラック必修科目

要件を満たした時点から卒業年度の2月末日までの間に、「英語重点トラック修了証申請書」(事務局教務係にあります)を事務局教務係に提出してください。その際には、成績表とTOEIC運営委員会が発行するOfficial Score Certificate(公式認定書)あるいはInstitutional Program(IP) Score Report(スコアレポート)も一緒に提出してください。

XVIII 「尾道市立大学 数理・データサイエンス・AI教育プログラム」について

本学では、今後の社会生活で必要となる、数理・データサイエンス・AIの基礎について学ぶことができる授業科目を開設しています。下記の科目の単位を全て修得すると、「尾道市立大学 数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(リテラシーレベル)」(以下、「リテラシーレベル」という)又は「尾道市立大学 数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度(応用基礎レベル)」(以下、「応用基礎レベル」という)の修了認定を受けることができます。また、認定を受けた者には修了証が授与されます。

1. 対象となる授業科目、開講学年・学期

プログラム名	対象学部	授業科目
リテラシーレベル	芸術文化学部	数理・データサイエンス・AI入門(1年後期)
	経済情報学部	統計学Ⅰ(1年後期)、マルチメディア論(2年後期)
応用基礎レベル	経済情報学部	基礎数学Ⅰ(1年後期)、プログラミングⅠ(1年後期)、統計学Ⅰ(1年後期)、基礎数学Ⅱ(2年前期)、統計学Ⅱ(2年前期)、情報基礎理論(2年後期)、マルチメディア論(2年後期)、機械学習と人工知能(2年後期)、ビッグデータ活用(3年前期)

<注意事項>

- ・経済情報学部の学生が「数理・データサイエンス・AI入門」を教養教育科目として履修することは可能ですが、「リテラシーレベル」の対象授業の履修とはなりません。
- ・芸術文化学部の学生が「統計学Ⅰ」を教養教育科目(開放科目)として履修することは可能ですが、「リテラシーレベル」の対象授業の履修とはなりません。

2. 教育プログラムにおいて身につけることのできる能力

プログラム名	対象学部	身につけることのできる能力
リテラシーレベル	芸術文化学部	(1)データ・AI活用領域の広がりを理解し、データ・AIを活用する価値を説明することができる。 (2)文献や現象を読み解き、それらの関係を分析・考察し表現することができる。 (3)データ・AIを利活用する際に求められるモラルや倫理について説明することができる。
	経済情報学部	(1)社会で活用されているデータを知り、記述統計の考え方や基本的な手法を利用し、データを読み、データを説明し、適切に扱うことができる。 (2)デジタル化技術について説明することができる。 (3)人工知能などのデジタルデータを活用する新たな技術について説明することができる。 (4)デジタル技術やそれを活用する新技術により社会がどのように変化したか説明することができる。
応用基礎レベル	経済情報学部	(1)数学基礎(統計数理、線形代数、微分積分)や情報に関する基礎理論を修得し、これらを活用してデータ分析や人工知能について説明することができる。 (2)代表的な機械学習や人工知能(ニューラルネットワーク)について説明することができる。 (3)機械学習や人工知能の実装にあたり必要となる基礎知識(プログラミング、アルゴリズム等)について修得し、活用することができる。 (4)デジタル技術や人工知能が社会でどのように活用されているかを学び、それをもとに新たな応用を検討することができる。